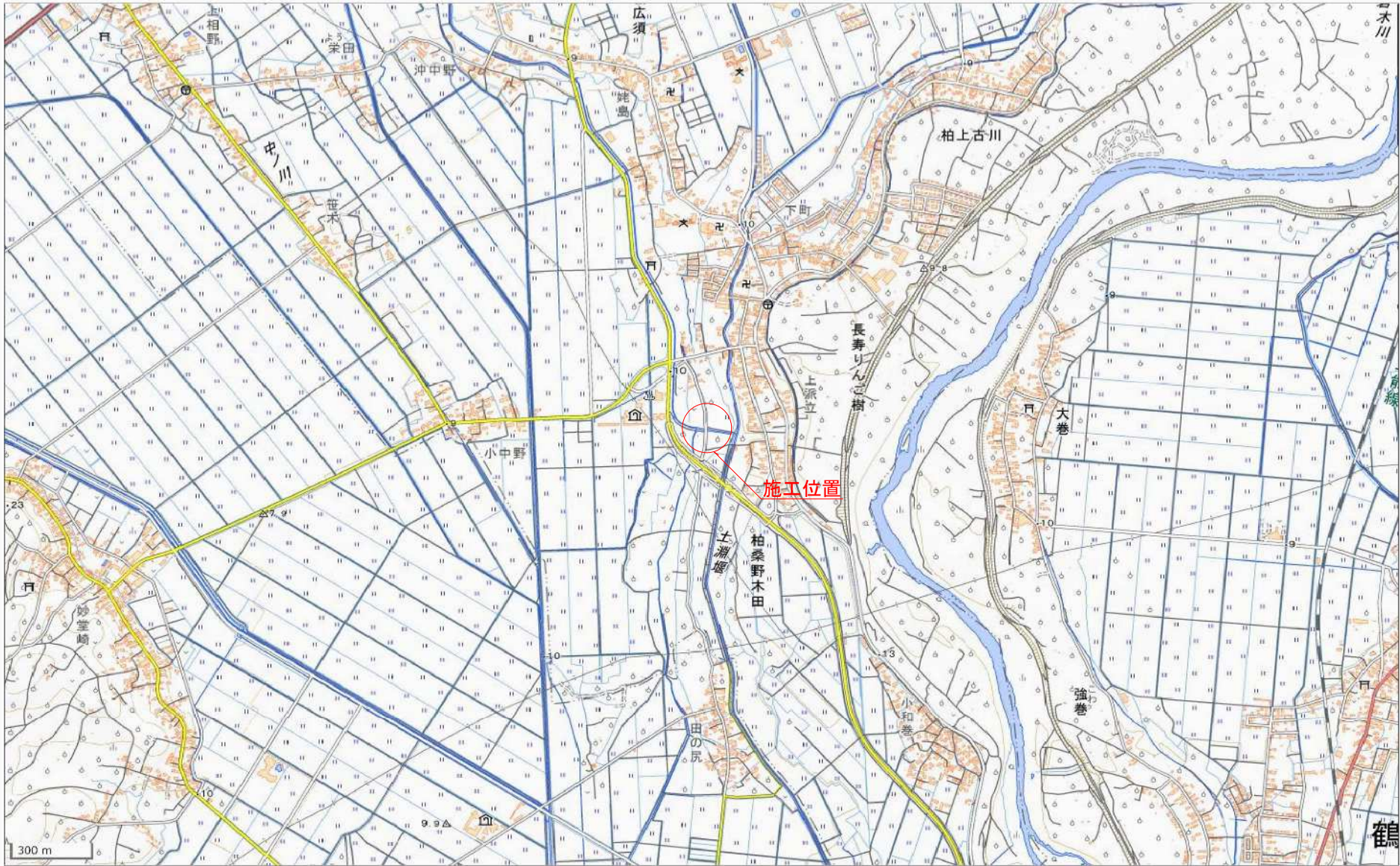


令和 7 年度 橋梁補修 工事		
工事番号	建土 第 117 号	
路線 河川 名	上派立1号橋	
施工箇所	つがる市柏桑野木田 地内	
位置図	縮尺	図 示
図面番号	15 葉中	1
つ が る 市		
土 木 課		

(上派立1号橋)

位置図



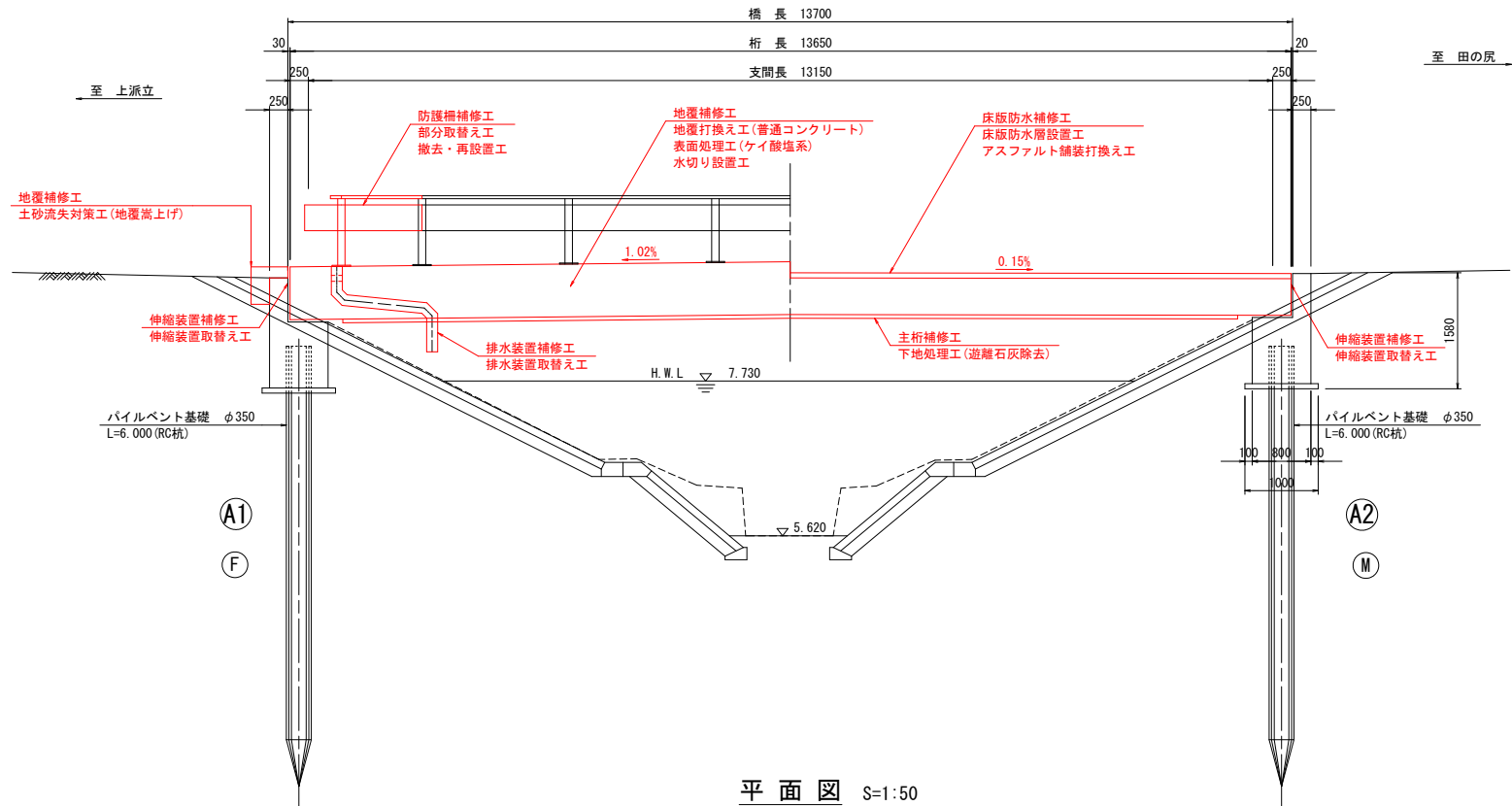
令和 7 年度	橋梁補修 工事	
工事番号	建土 第 117 号	
路線 名	上派立1号橋	
施工箇所	つがる市柏桑野木田 地内	
橋梁補修一般図	縮尺	図 示
図面番号	15 葉中	2
つ が る 市		
土 木 課		

(上派立1号橋)

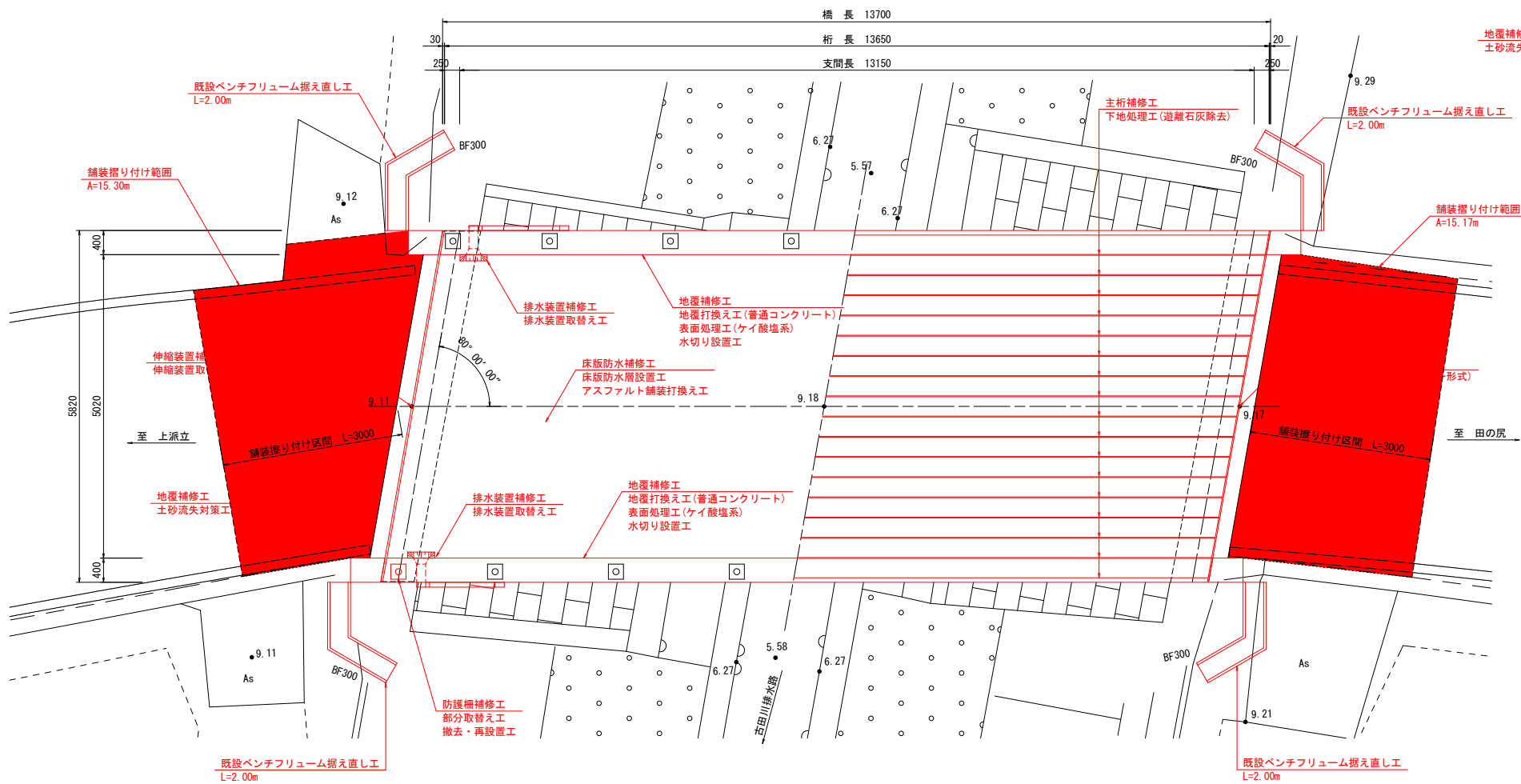
2
14

上派立1号橋補修一般図

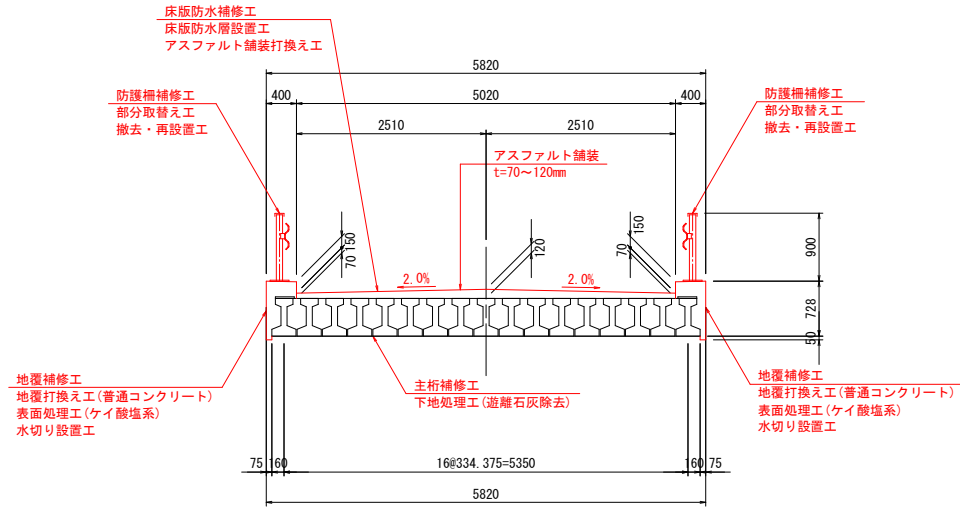
側 面 図 S=1:50



平 面 図 S=1:50

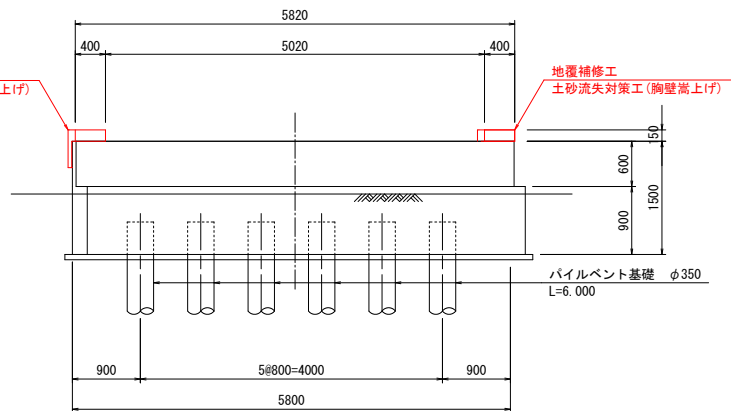


標準断面図 S=1:50



橋台正面図 S=1:50

(A1、A2橋台共通)



補修計画一覧

補修工種	内容・補修概要
床版防水補修工	床版防水層設置工 アスファルト舗装打換え工
伸縮装置補修工	伸縮装置取替え工 (鋼製フィンガー形式)
防護柵補修工	部分取替え工 撤去・再設置工
地覆補修工	地覆打換え工 (普通コンクリート) 表面処理工 (ケイ酸塩系) 水切り設置工 土砂流失対策工 (地覆嵩上げ)
排水装置補修工	排水装置取替え工 既設ベンチフリューム据え直し工
主桁補修工	下地処理工 (遊離石灰除去)

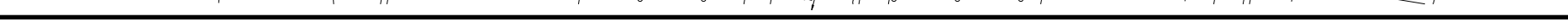
設 計 条 件	
橋 名	上派立1号橋 (カミハダチゴウキョウ)
路 線 名	上派立・田の尻線
供用年月日	昭和47年 (1972年)
設計活荷重	不明
形 式	単純PCI桁橋
橋 長	13.700m
桁 長	13.650m
支 間 長	13.150m
造 幅 員	5.820m (有効幅員 5.020m)
支 承	可動: エラストイト、固定: モルタル
雪 荷 重	不明
斜 角	左 80° 00' 00"
下 部 工 形 式	バイルベント橋台
基 礎 工	バイルベント基礎 (RC杭)
交 差 条 件	古田川排水路
適用示方書	道路橋示方書 (昭和39年)
添 架 管	なし

(上派立1号格)

側面図 S=1:50



平面图 S=1:50



標準断面図 S=1:50

橋台正面図 S=1:50

(A1、A2橋台共通)



設 計 条 件		
橋 名	上派立1号橋(カミハダチテゴウキョウ)	
路 線 名	上派立・田の尻線	
供用年月日	昭和47年(1972年)	
構 造 形 式	設 計 活 荷 重	不明
	形 式	単純PCI桁橋
	橋 長	13.700m
	桁 長	13.650m
	支 間 長	13.150m
	幅 員	5.820m(有効幅員 4.970m)
	支 承	可動：エラストイト、固定：モルタル
	雪 荷 重	不明
	斜 角	左 80° 00' 00"
下 部 工 形 式	バイルベント橋台	
基 礎 工	バイルベント基礎(RC杭)	
交 差 条 件	古田川排水路	
適用示方書	道路橋示方書(昭和39年)	
添 架 管	なし	

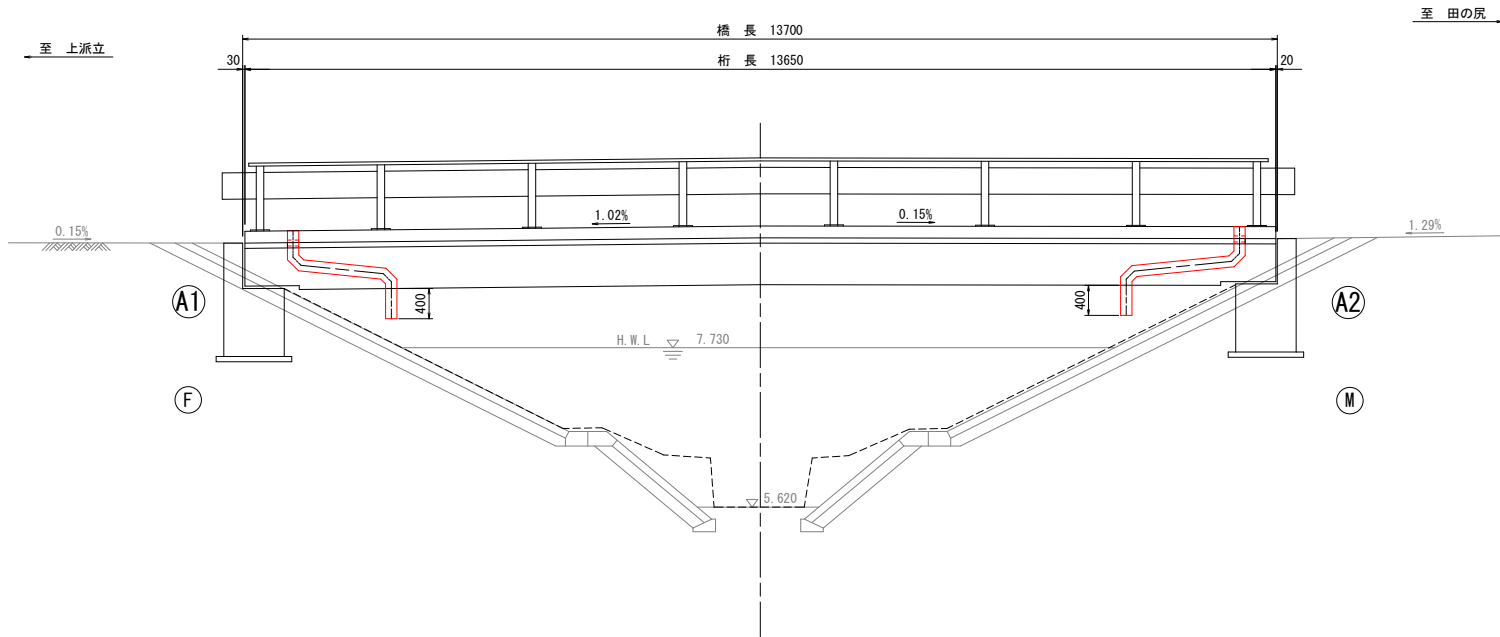
令和 7 年度 橋梁補修 工事		
工事番号	建土 第 117 号	
路線 河川 名	上派立1号橋	
施工箇所	つがる市柏桑野木田 地内	
床版防水補修図	縮尺	図 示
図面番号	15 葉中	4
つ が る 市		
土 木 課		

(上派立1号橋)

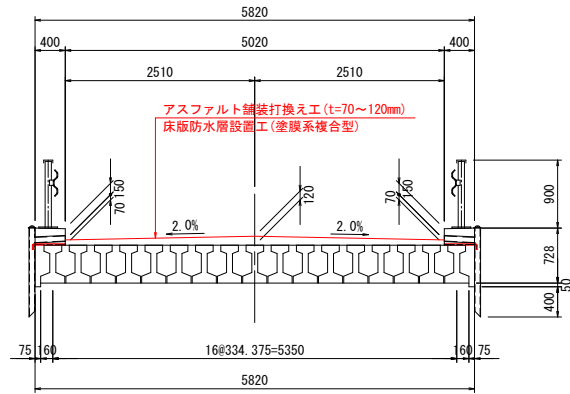
3
14

床版防水補修工図

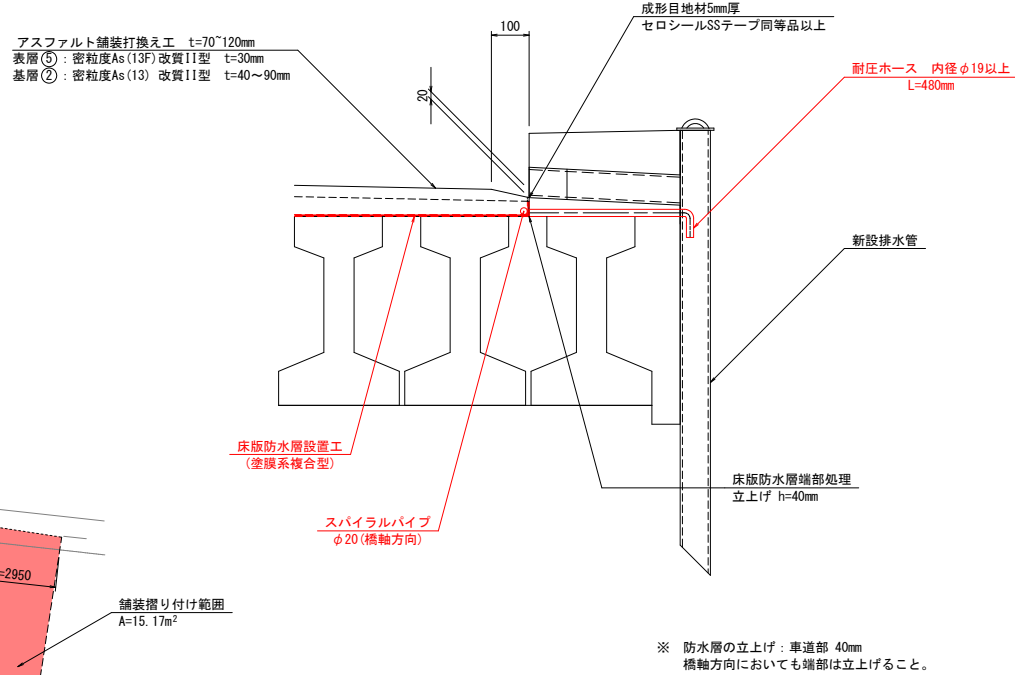
側 面 図 S=1:50



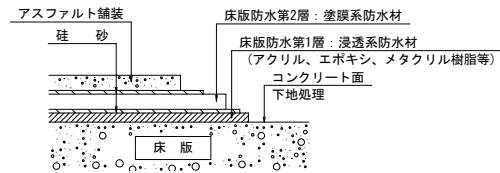
標準断面図 S=1:50



床版防水端部処理図 S=1:10



床版防水工詳細図
(塗膜系複合型)



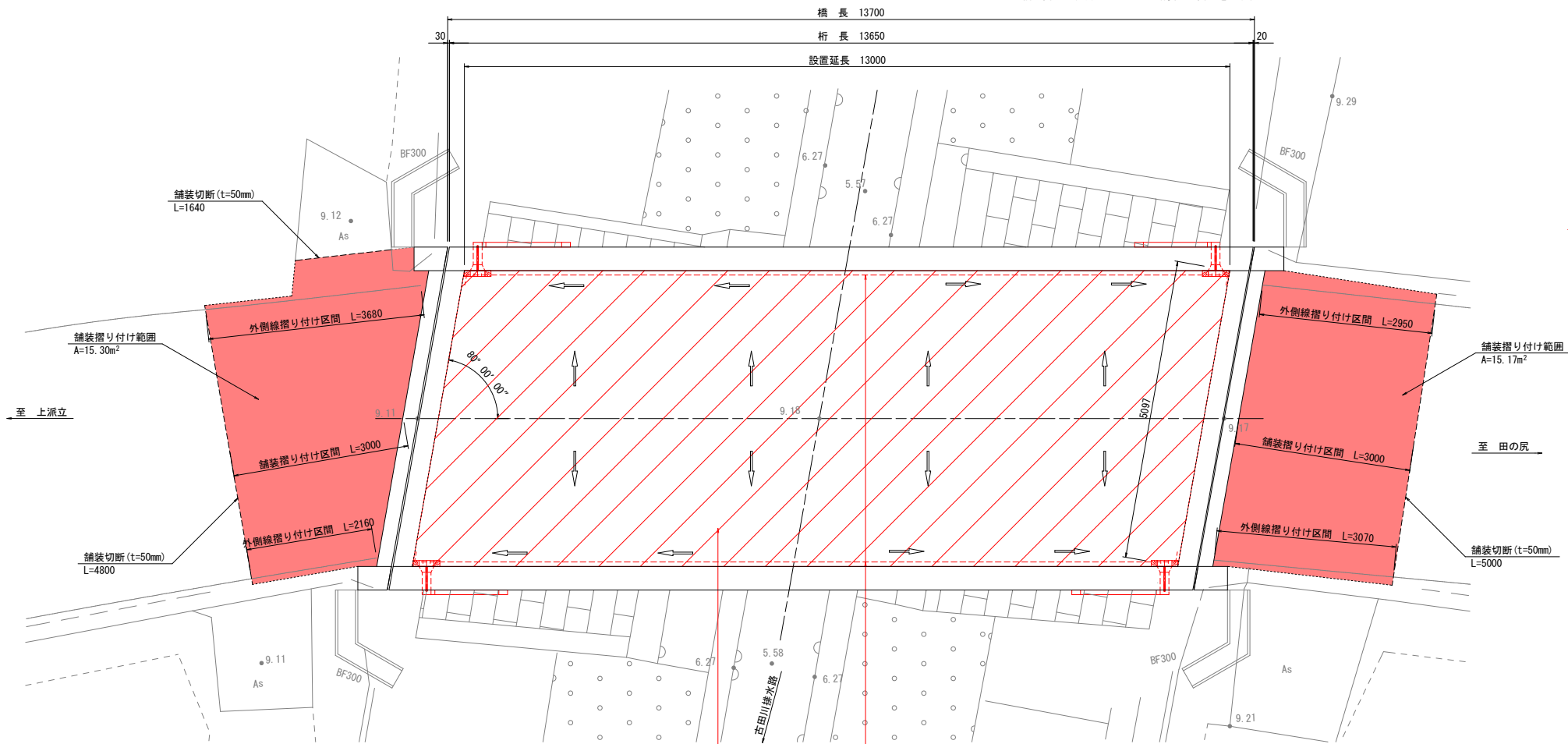
特記事項

- 図中、詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
- 現況舗装切削後、床版上面に劣化部が確認される場合には補修を行うこと。
- 流水方向については、路面切削後、高さの現地計測を行い再確認を行うこと。
- 排水処理は既設排水樹に接続して行うこと。
- 追加補修箇所がある場合は、調査職員と協議し補修の有無を確認すること。

平 面 図 S=1:50

→ 流水方向

※橋面高さは、現地で計測した舗装面の高さを示す。



アスファルト舗装すり付け範囲 (A=15.30m²)
舗装切断 (t=50mm)
⑤ 再生密粒度As (13F) t=50mm

アスファルト舗装打換え工 (t=70~120mm)
床版防水層設置工 (塗膜系複合型)

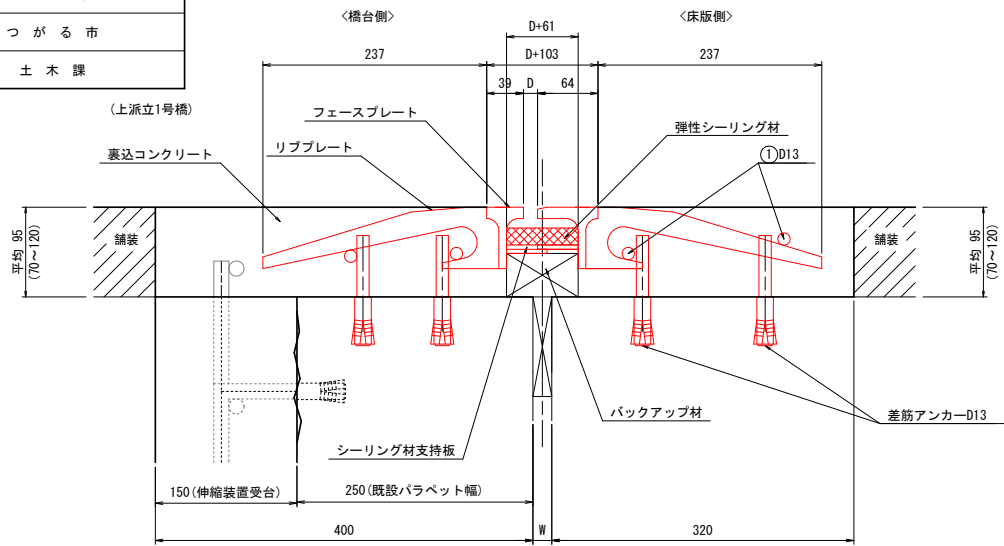
スパイラルパイプφ18 (橋軸方向)
L=13.51m

アスファルト舗装すり付け範囲 (A=15.17m²)
舗装切断 (t=50mm)
⑤ 再生密粒度As (13F) 改質II型 t=50mm

令和 7 年度 橋梁補修 工事		
工事番号		建土 第 117 号
路線 河川 名		上派立1号橋
施工箇所		つがる市柏桑野木田 地内
伸縮装置補修工図		縮尺 図 示
図面番号		15 葉中 5
つ が る 市		
土 木 課		

4
14

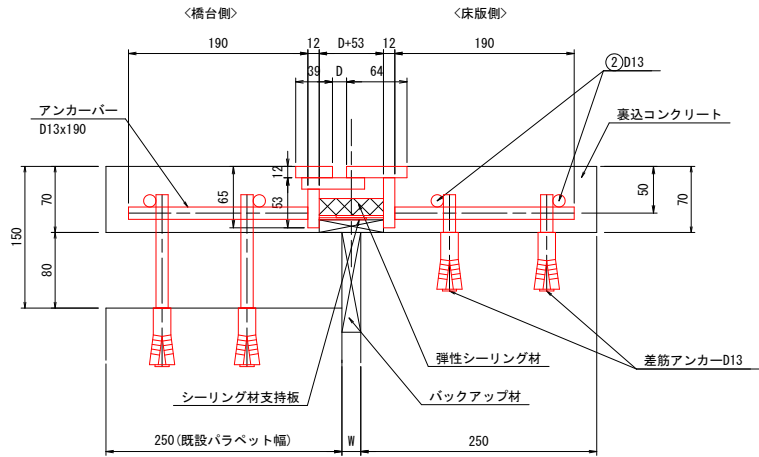
伸縮継手断面図 S=1:4
伸縮量20mmタイプ



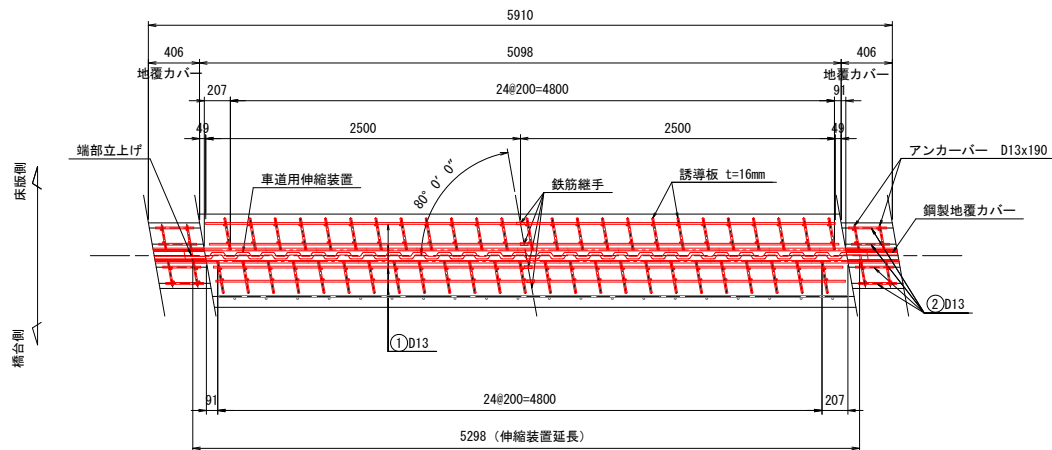
※) ・地覆端上げ部及び伸縮装置受け台の配筋を行った後に構造が一体となるように
コンクリートを打設すること
・打設の際は橋台背面の路盤材の入念な締めを行うこと

地覆部：伸縮量20mmタイプ S=1:4

※) 遊間位置は、車道部伸縮装置と合わせて製作のこと



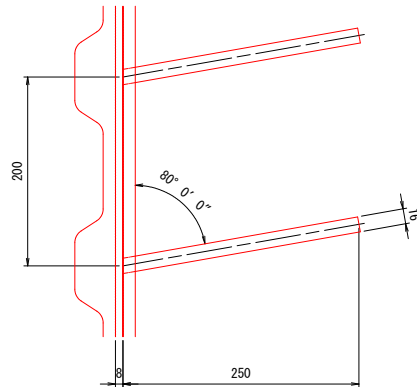
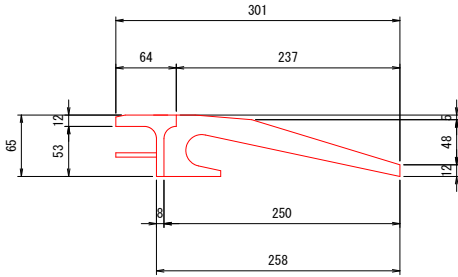
平面図配筋図 S=1:30



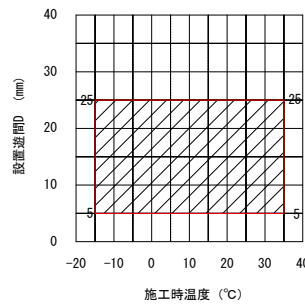
伸縮装置補修工図(1/3)

A1, A2橋台

誘導板詳細図 S=1:4

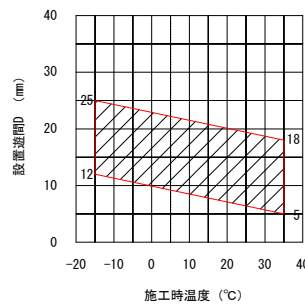


A1橋台



伸縮量：ΔL
ΔL = 0

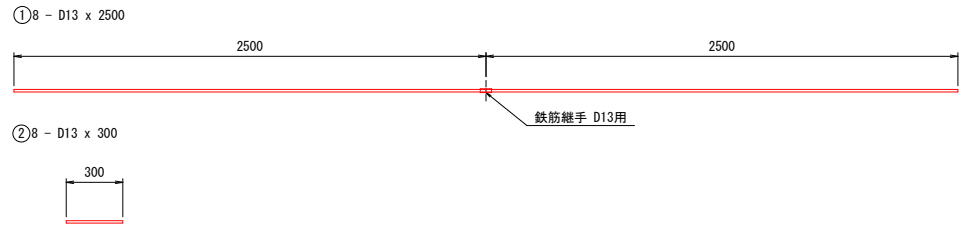
A2橋台



伸縮量：ΔL
ΔL = 0.5 x L x sinθ + 余裕量
= 0.5 x 13.65 x sin80° + 10
= 16.7mm

※) 設置表の上下限は余裕量を除いた温度伸縮量とする。

鉄筋加工図 S=1:20

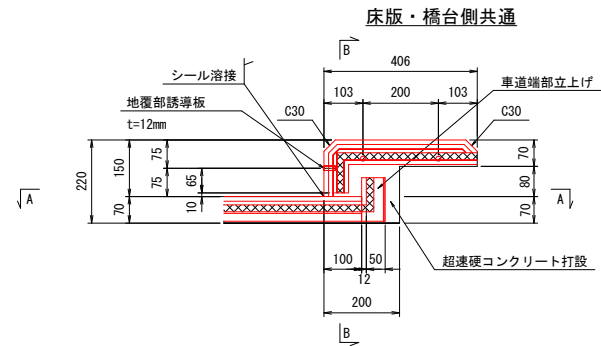


鉄筋質量表

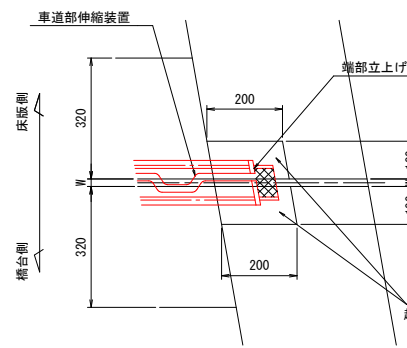
(一箇所当たり)

番号	径	長さ	本数	単位重量	1本あたりの質量	質量	形状	材質	備 考
①	D13	2500	8	0.995	2.49	20		S0345	
②	D13	300	8	0.995	0.29	2		S0345	
D13 合計						22	kg		
差し筋アンカー D13						116	本		

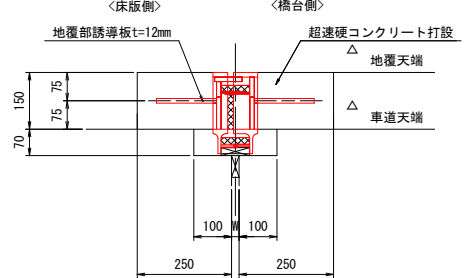
鋼製地覆カバープレート詳細図 S=1:10



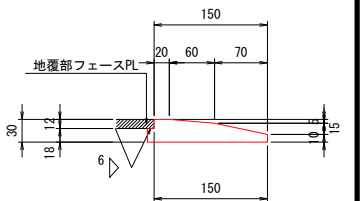
A-A 断面



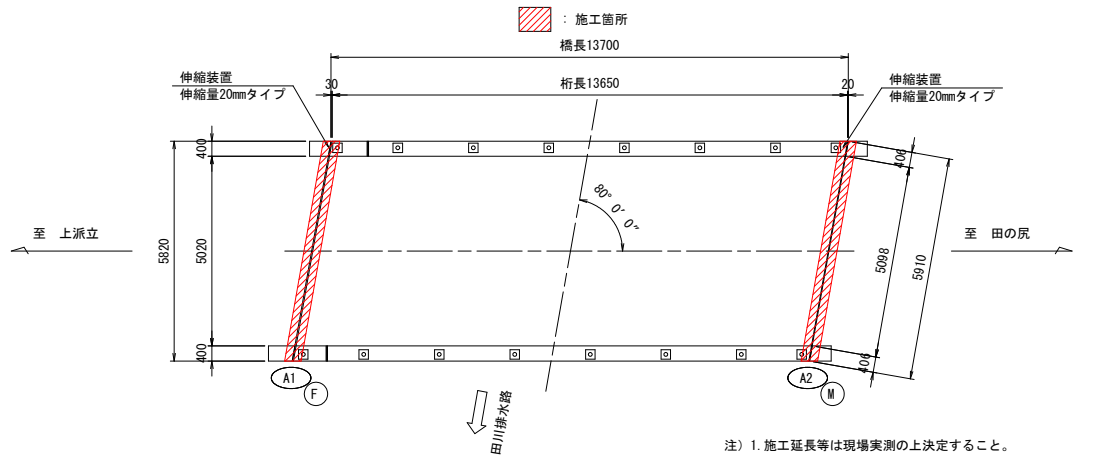
B-B 断面



地覆部誘導板詳細図 S=1:5
伸縮量20mmタイプ



施工位置図 S=1:100

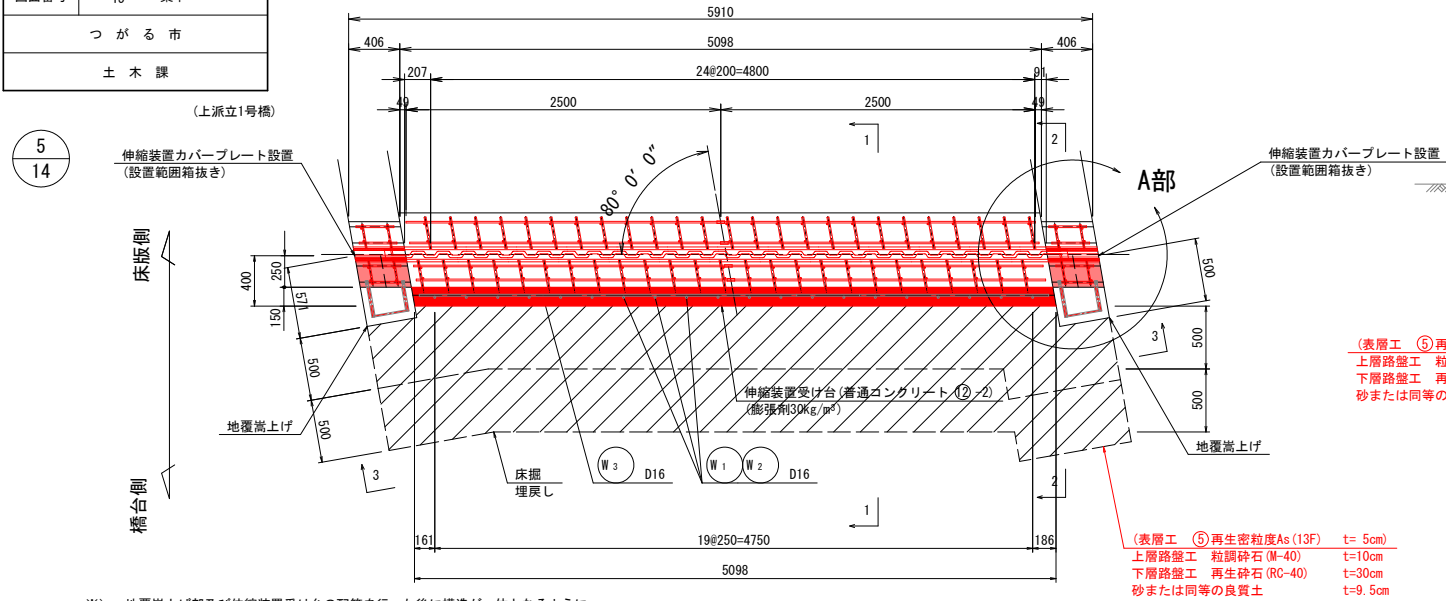


注) 1. 施工延長等は現場実測の上決定すること。

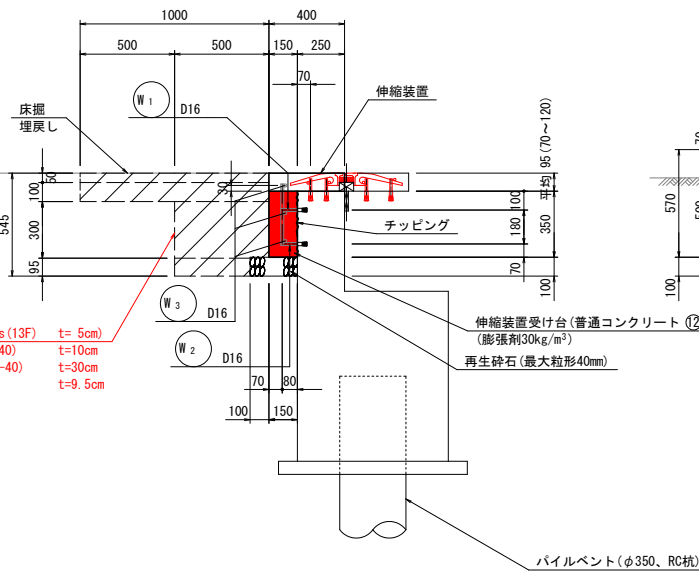
令和 7 年度	橋梁補修 工事	
工事番号	建土 第 117 号	
路線 河川 名	上派立1号橋	
施工箇所	つがる市柏桑野木田 地内	
伸縮装置補修工図	縮尺	図 示
図面番号	15 葉中	6
つ が る 市		
土 木 課		

伸縮装置補修工図 (2/3)

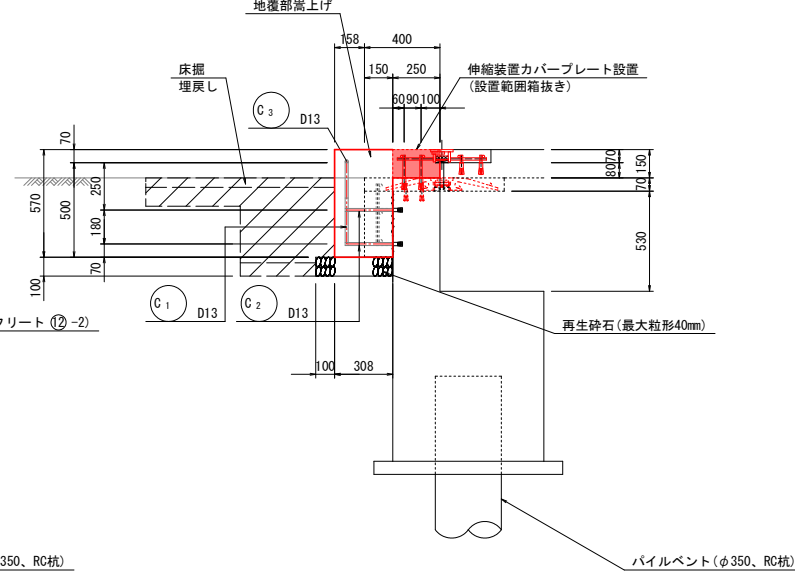
橋台平面図 S=1:30



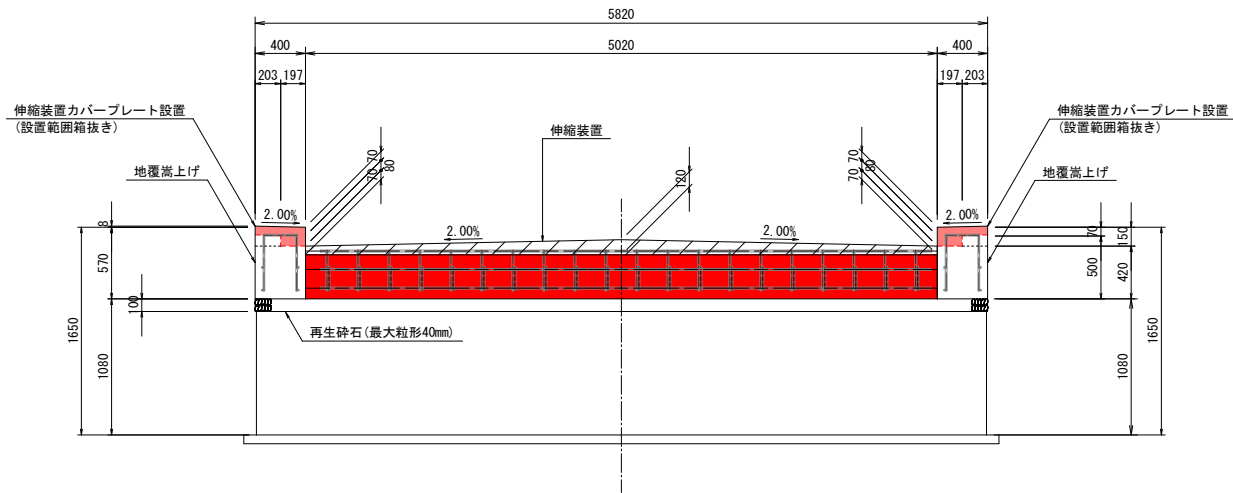
橋台車道部断面図 S=1:20 (1-1)



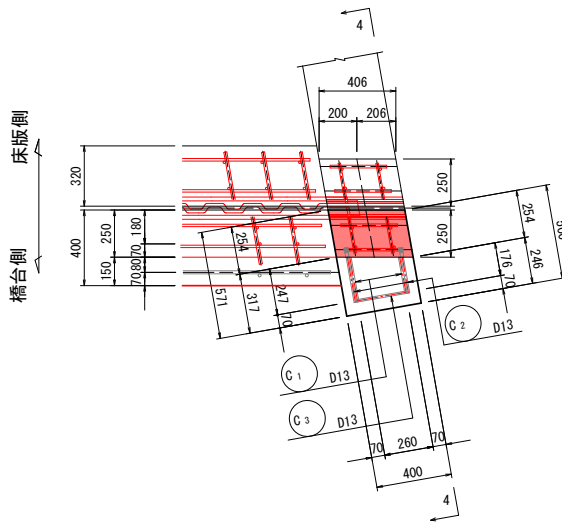
橋台地覆部断面図 S=1:20 (2-2)



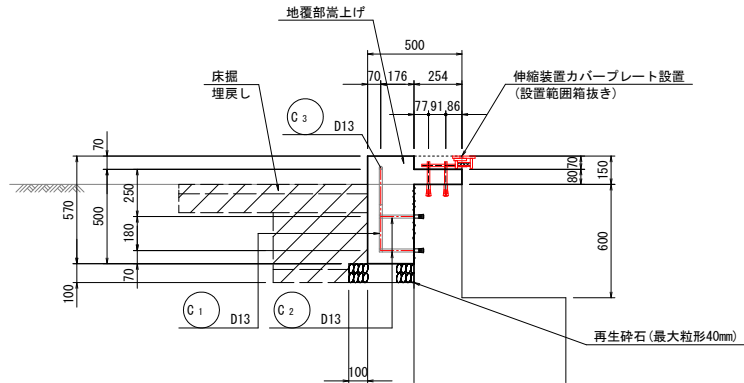
橋台背面図 S=1:30 (3-3)



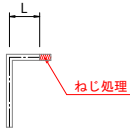
A部詳細図 S=1:20



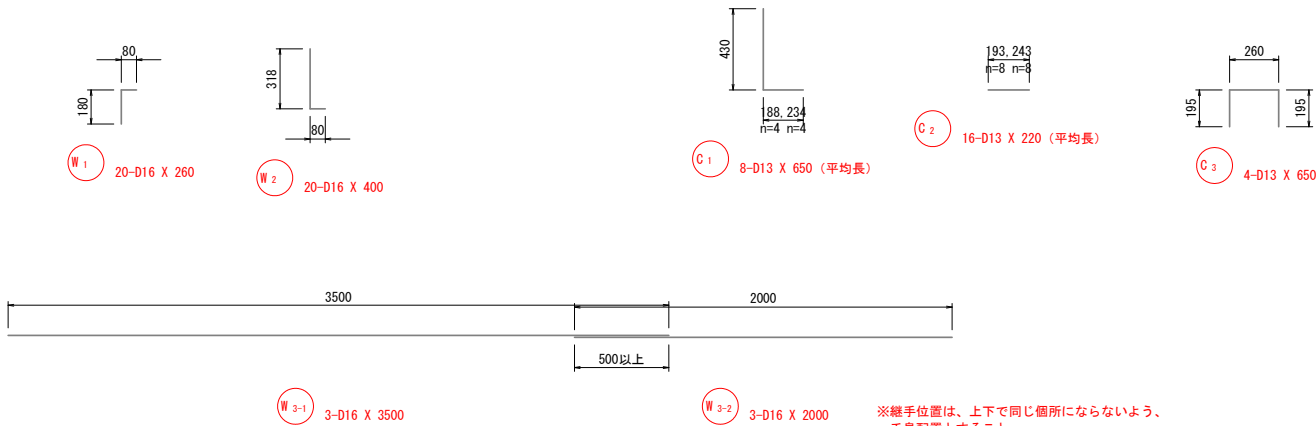
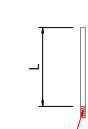
地覆嵩上げ部側面図 S=1:20 (4-4)



アンカー筋詳細図 (D16)



アンカー筋詳細図 (D13)



鉄筋質量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
C ₁	D13	650	8	0.995	0.65	5	(平均長)
C ₂	D13	220	16	0.995	0.22	4	(平均長)
C ₃	D13	650	4	0.995	0.65	3	
12							
W ₁	D16	260	20	1.56	0.41	8	┐
W ₂	D16	400	20	1.56	0.62	12	┐
W ₃₋₁	D16	3500	3	1.56	5.46	16	┐
W ₃₋₂	D16	2000	3	1.56	3.12	9	┐
45							
合 計				D16 (SD345)	45 kg		
				D13 (SD345)	12 kg		
総質量					57 kg		
差筋アンカー				D13	8 本		
差筋アンカー				D16	40 本		

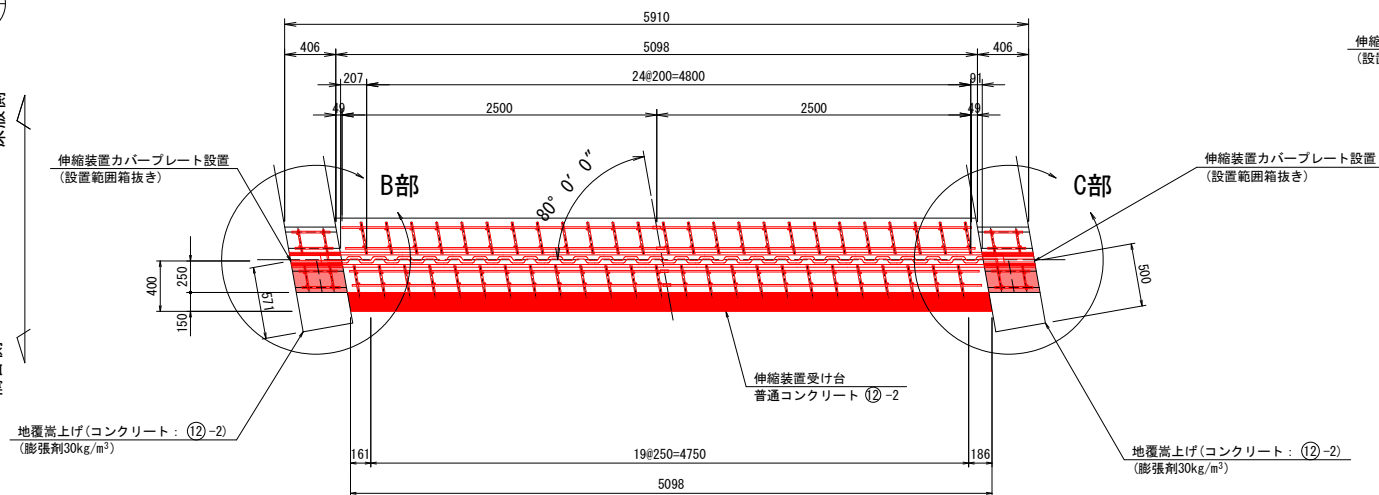
令和 7 年度	橋梁補修 工事	
工事番号	建土 第 117 号	
路線 河川 名	上渕1号橋	
施工箇所	つがる市栲野木田 内地	
伸縮装置補修工図	縮尺	図 示
図面番号	15 葉中	7
つ が る 市		
土 木 課		

(上派立1号桥)

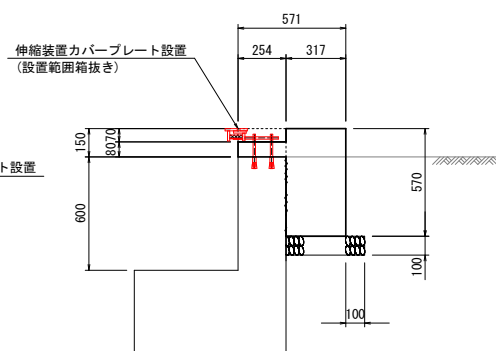
橋台側

$$\frac{6}{14}$$

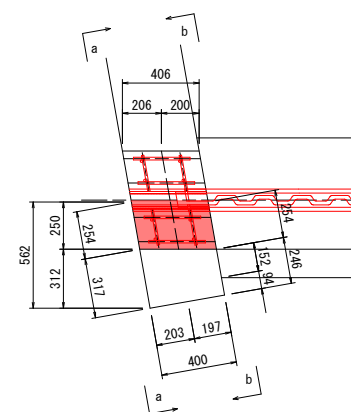
橋台平面図 S=1:30



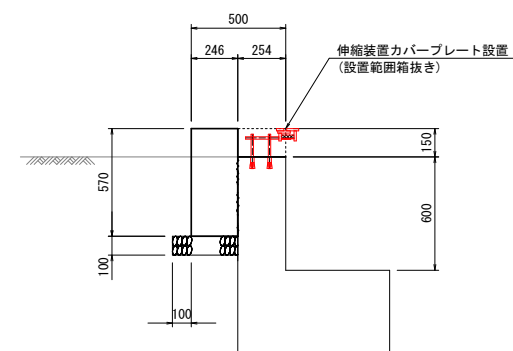
地覆嵩上げ部側面図
(a-a)



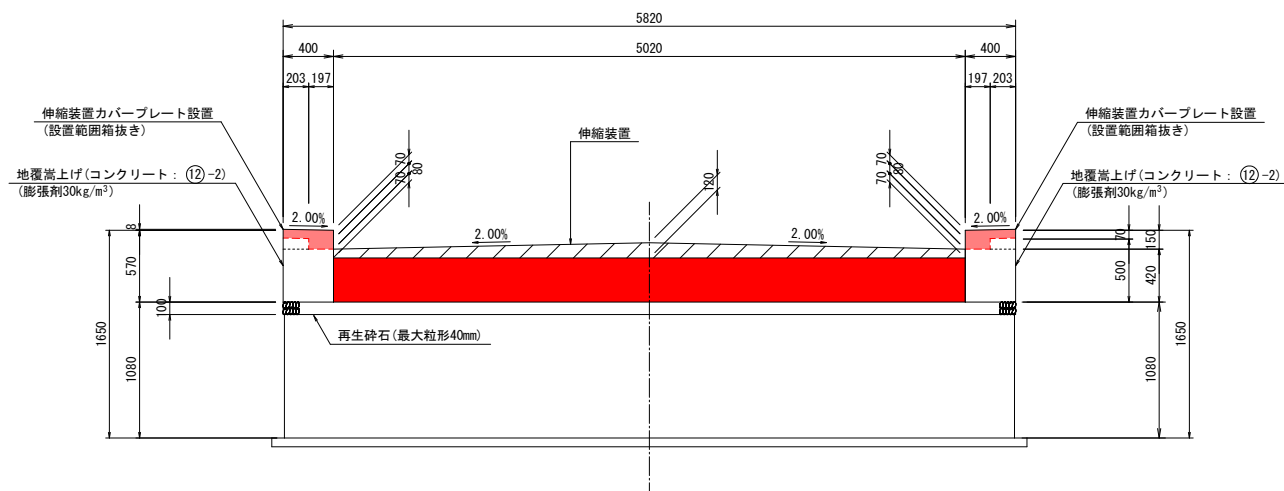
B部詳細図 S=1:20



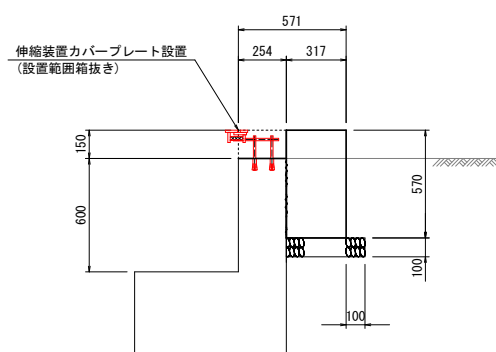
地覆嵩上げ部側面図
(b-b)



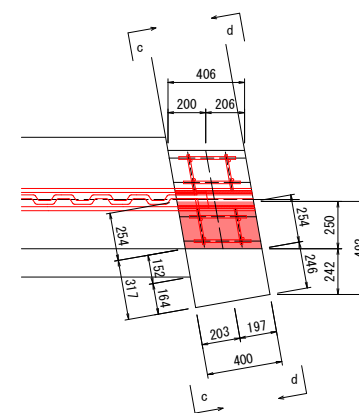
橋台背面図 S=1:30



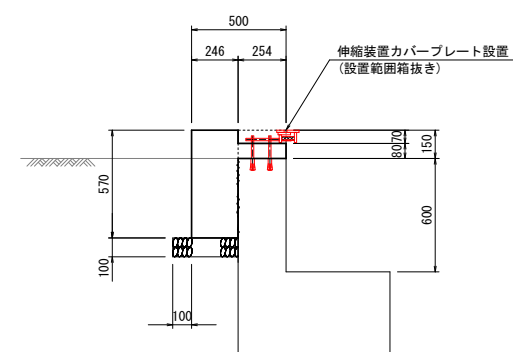
地覆嵩上げ部側面図
(C-C)



C部詳細図 S=1:20



地覆嵩上げ部側面図
(d-d)



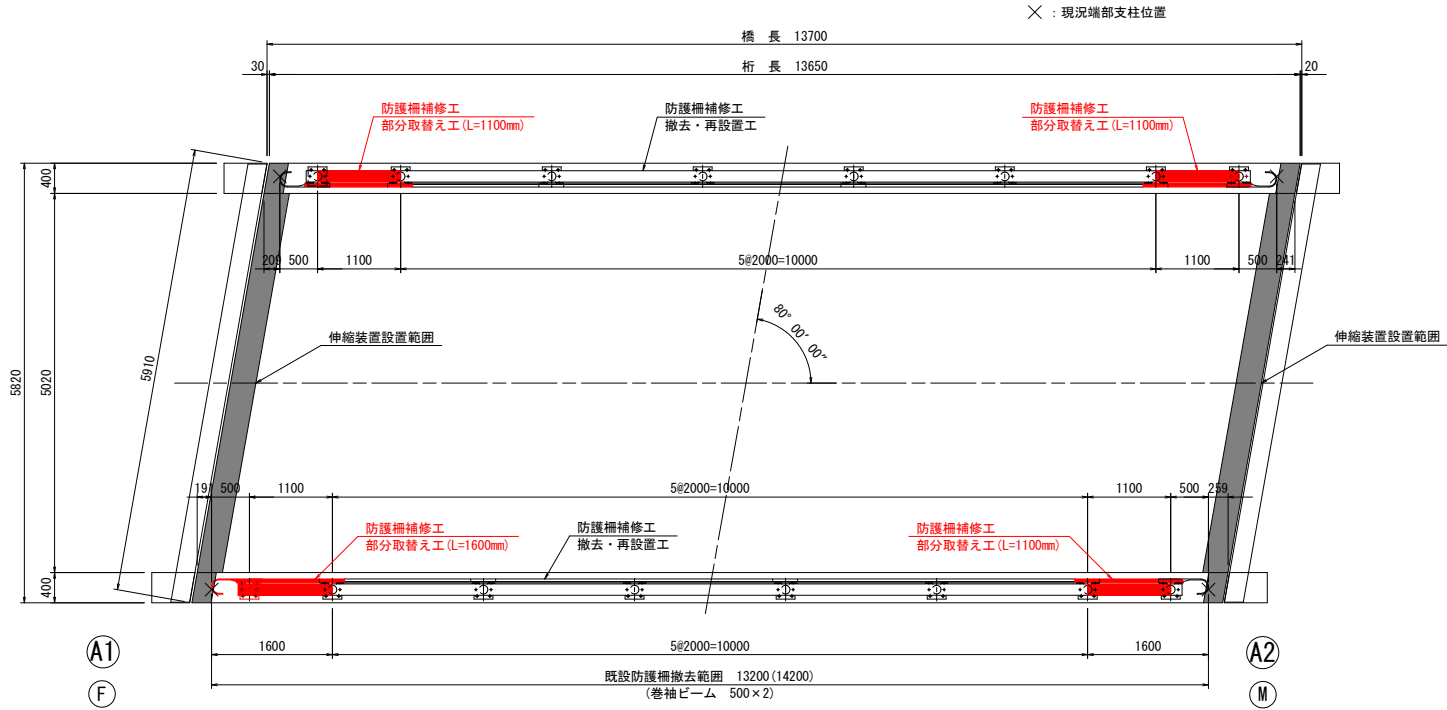
令和 7 年度	橋梁補修 工事	
工事番号	建土 第 117 号	
路線 河川	上派立1号橋	
施工箇所	つがる市柏桑野木田 地内	
防護柵補修工図	縮尺	図 示
図面番号	15 葉中	8
つ が る 市		
土 木 課		

(上派立1号橋)

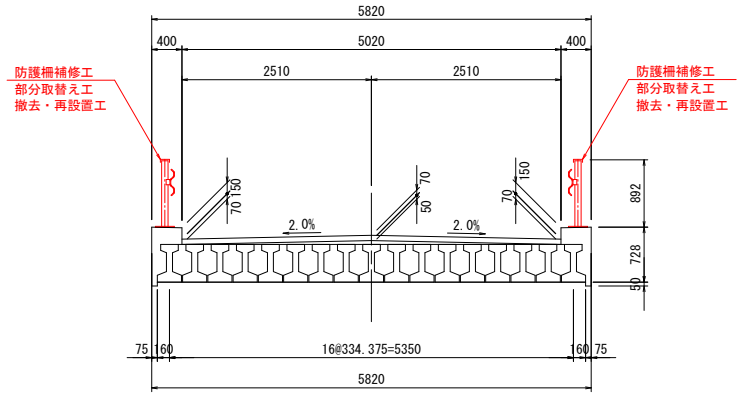
7
14

防護柵補修工図

割 付 図 S=1:50

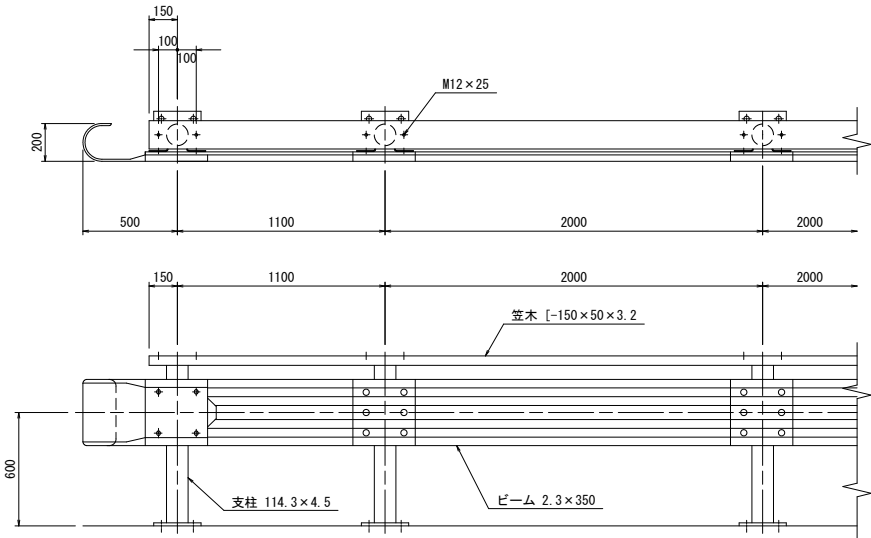


標準断面図 S=1:50



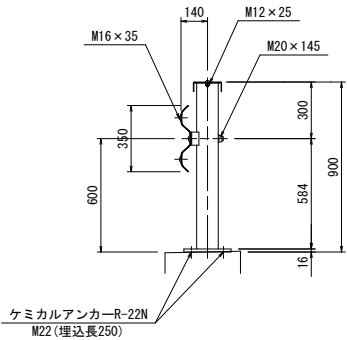
組立図

S=1:20



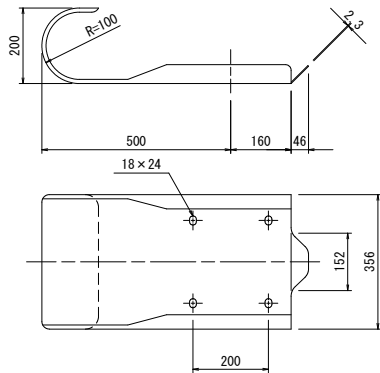
断面図

S=1:20



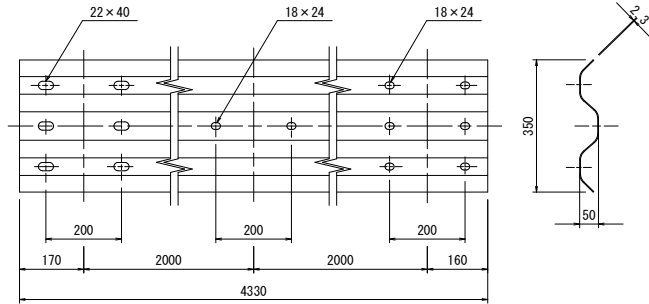
巻袖ビーム

S=1:10



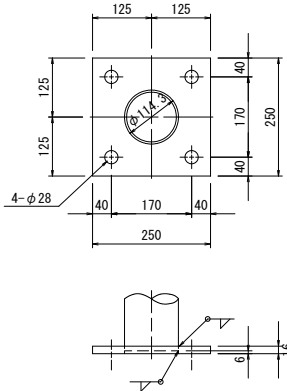
ビーム

S=1:10



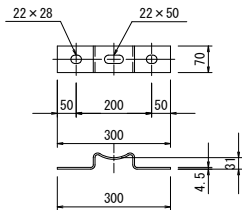
ベースプレート詳細図

S=1:8



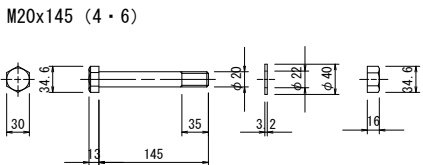
ブラケット

S=1:10



ブラケット取付用ボルト

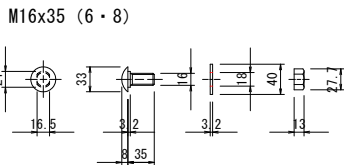
S=1:5



ビーム取付用ボルト

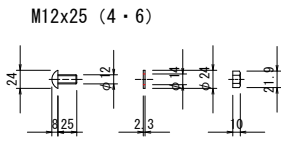
S=1:5

(再帰反射ボルト)



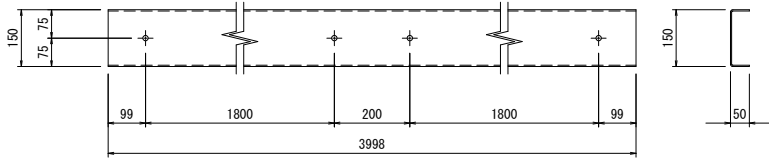
笠木取付用ボルト

S=1:5



笠木

S=1:10



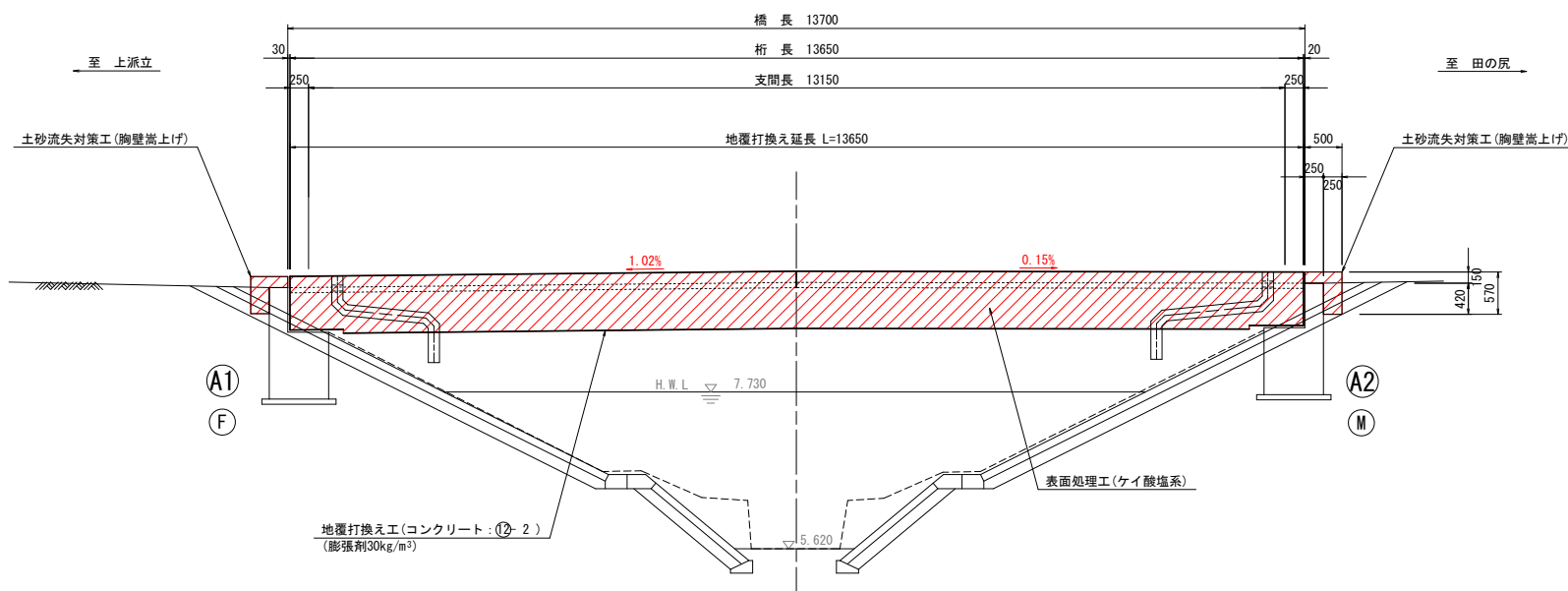
令和 7 年度	橋梁補修 工事		
工事番号	建士 第 117 号		
路線 河川 名	上派込1号橋		
施工箇所	つがる市柏桑野木田 地内		
地覆補修工図(1/4)	縮尺	図 示	
図面番号	15	葉中	9
つ が る 市			
土 木 課			

(上派立1号桥)

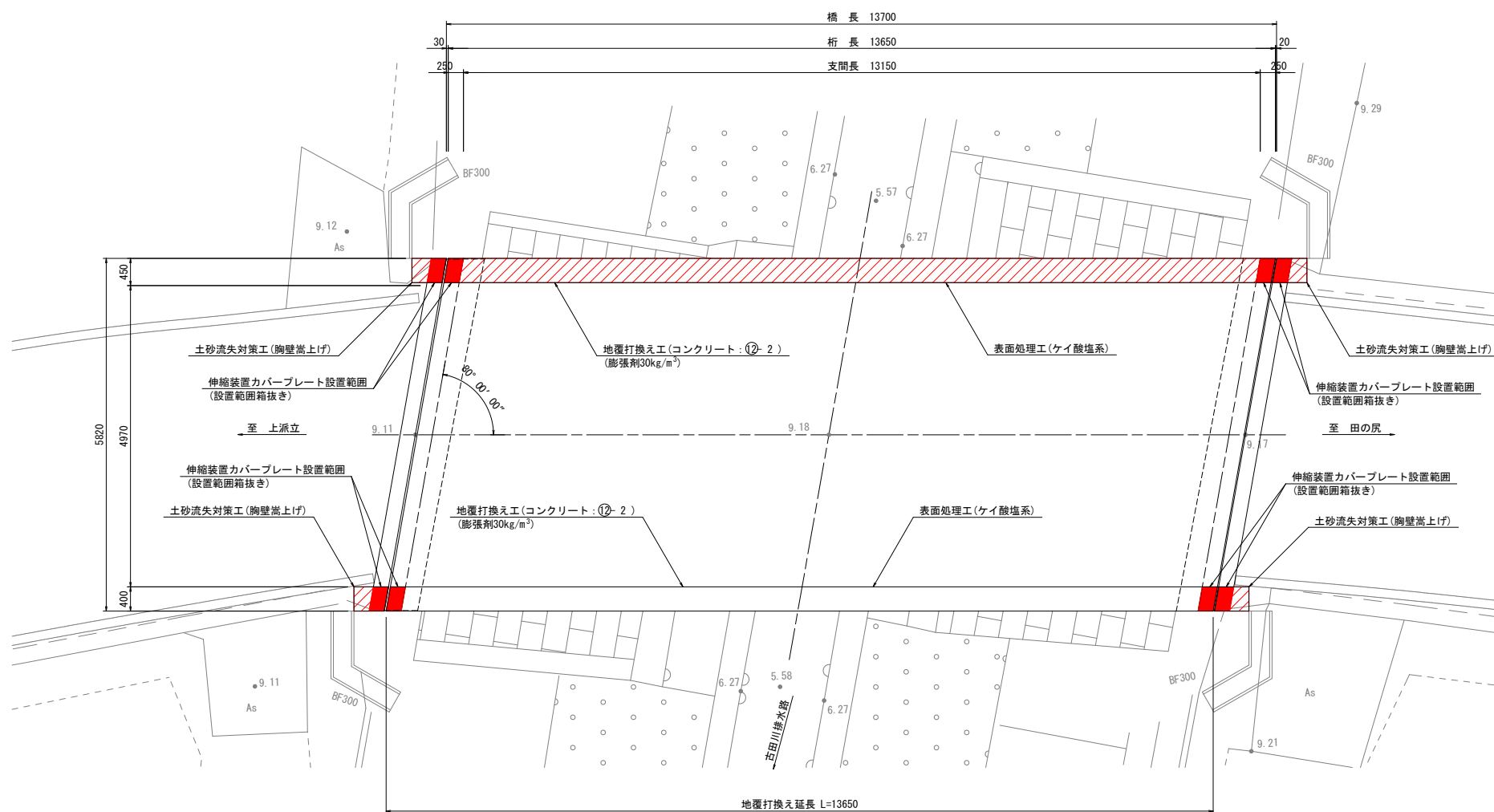
$$\frac{8}{14}$$

地覆補修工図(1/3)

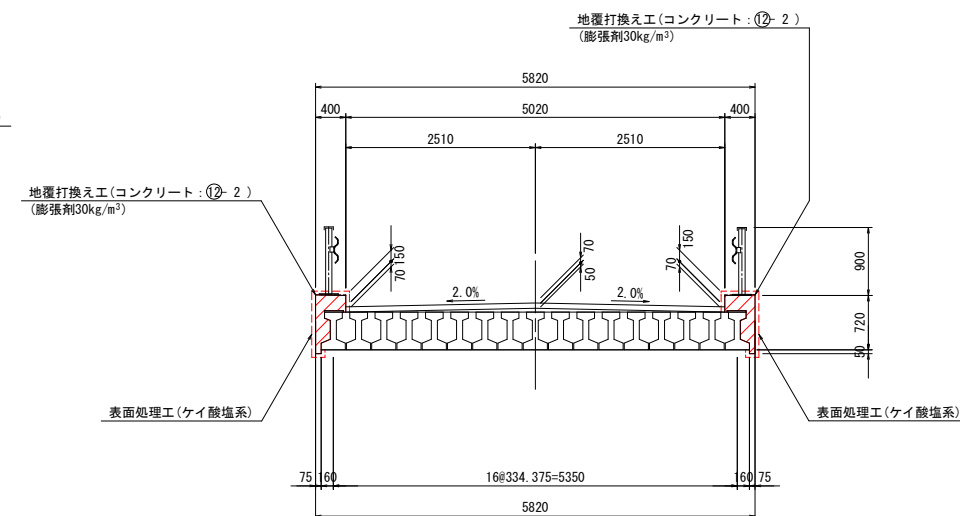
側面図 S=1:50



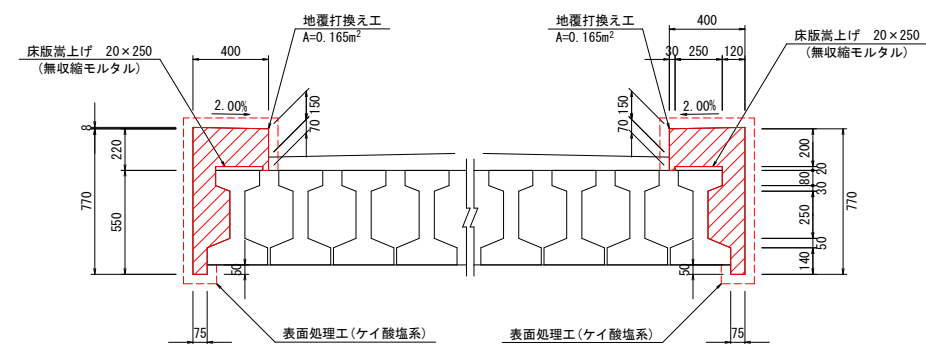
平面图 S=1:50



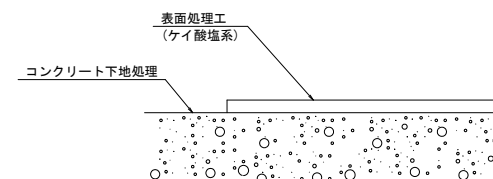
標準断面図 S=1:50



地覆復旧断面図 S=1:20



表面処理工詳細図

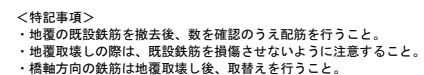
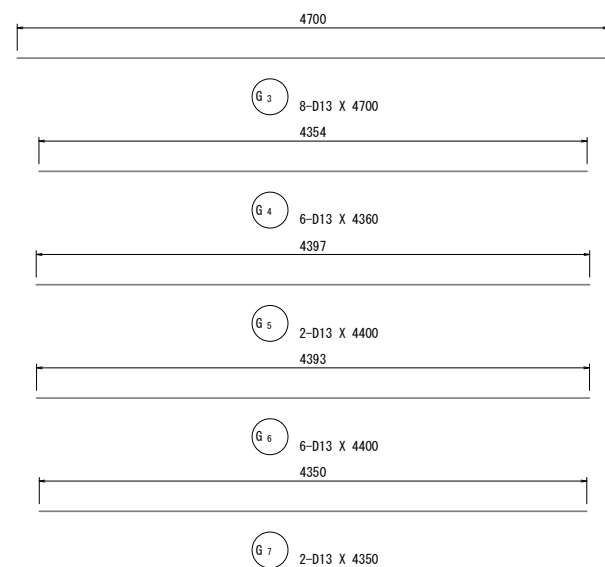
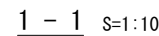


＜特記事項＞

1. 詳細形状、寸法は現地計測及び計画路面の高さを確認のうえ決定すること。
2. 既設コンクリート面は、下地処理、プライマー塗布を行うこと。
3. 地覆コンクリートに膨張材(30kg/m³)を混合すること。
4. 既設鉄筋に錆が見られた場合、防錆処理を行うこと。

(上派立1号格)

平面図 S=1:30



記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
G 1	D13	1050	110	0.995	1.04	114	┐
G 2	D13	600	4	0.995	0.60	2	┐
G 3	D13	4700	8	0.995	4.68	37	—
G 4	D13	4360	6	0.995	4.34	26	—
G 5	D13	4400	2	0.995	4.38	9	—
G 6	D13	4400	6	0.995	4.38	26	—
G 7	D13	4350	2	0.995	4.33	9	—
223							
H 1	D13	1310	8	0.995	1.30	10	┐
10							
合 計 D13				233 kg			
総質量				233 kg			

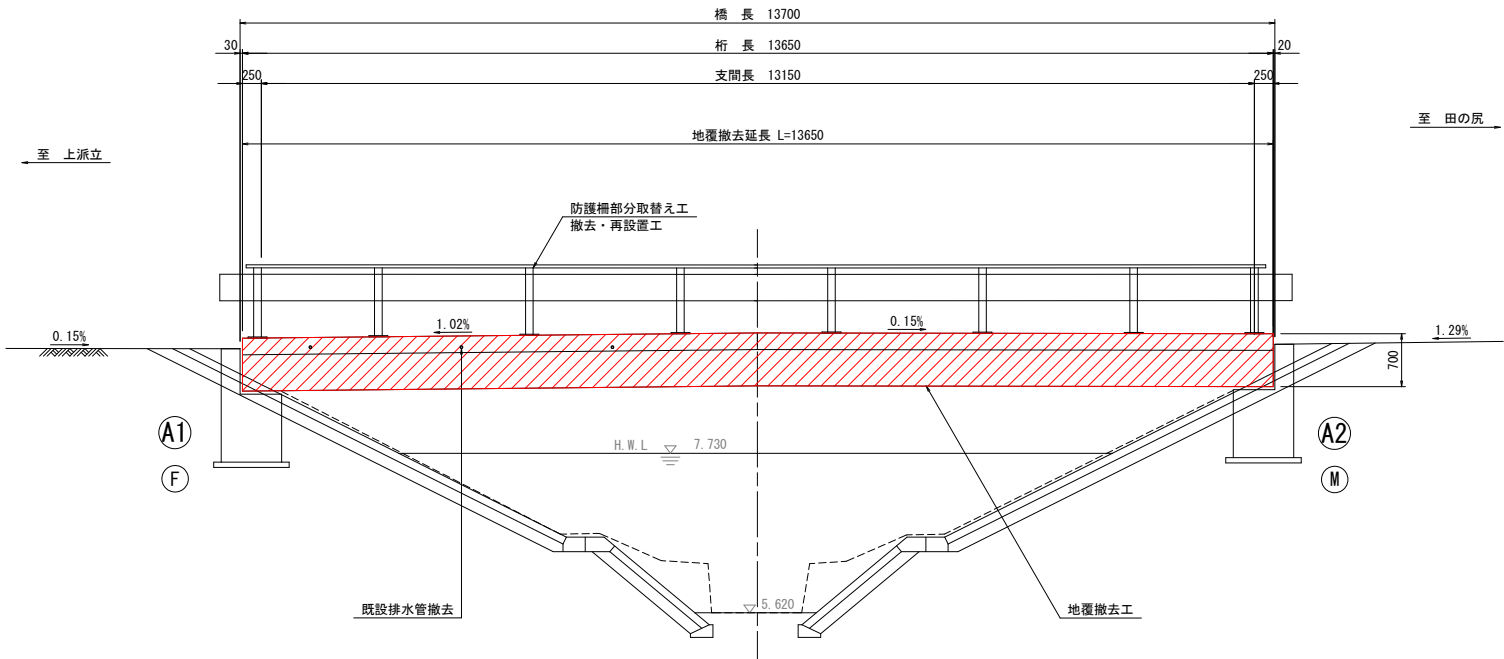
令和 7 年度	橋梁補修 工事	
工事番号	建土 第 117 号	
路線 河川	上派立1号橋	
施工箇所	つがる市柏桑野木田 地内	
地覆補修工図 (4/4)	縮尺	図 示
図面番号	15 葉中	11
つ が る 市		
土 木 課		

(上派立1号橋)

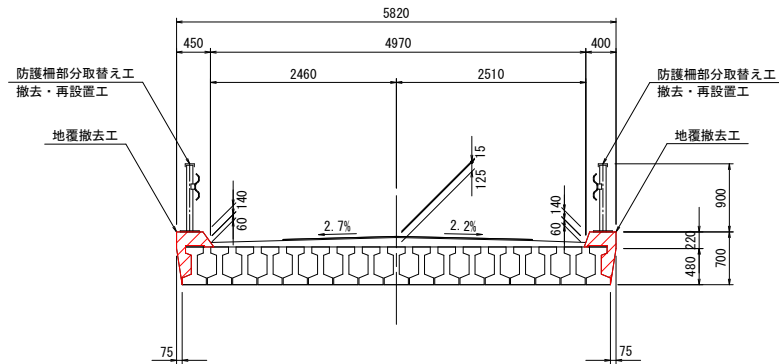
10
14

地覆補修工図 (3/3)

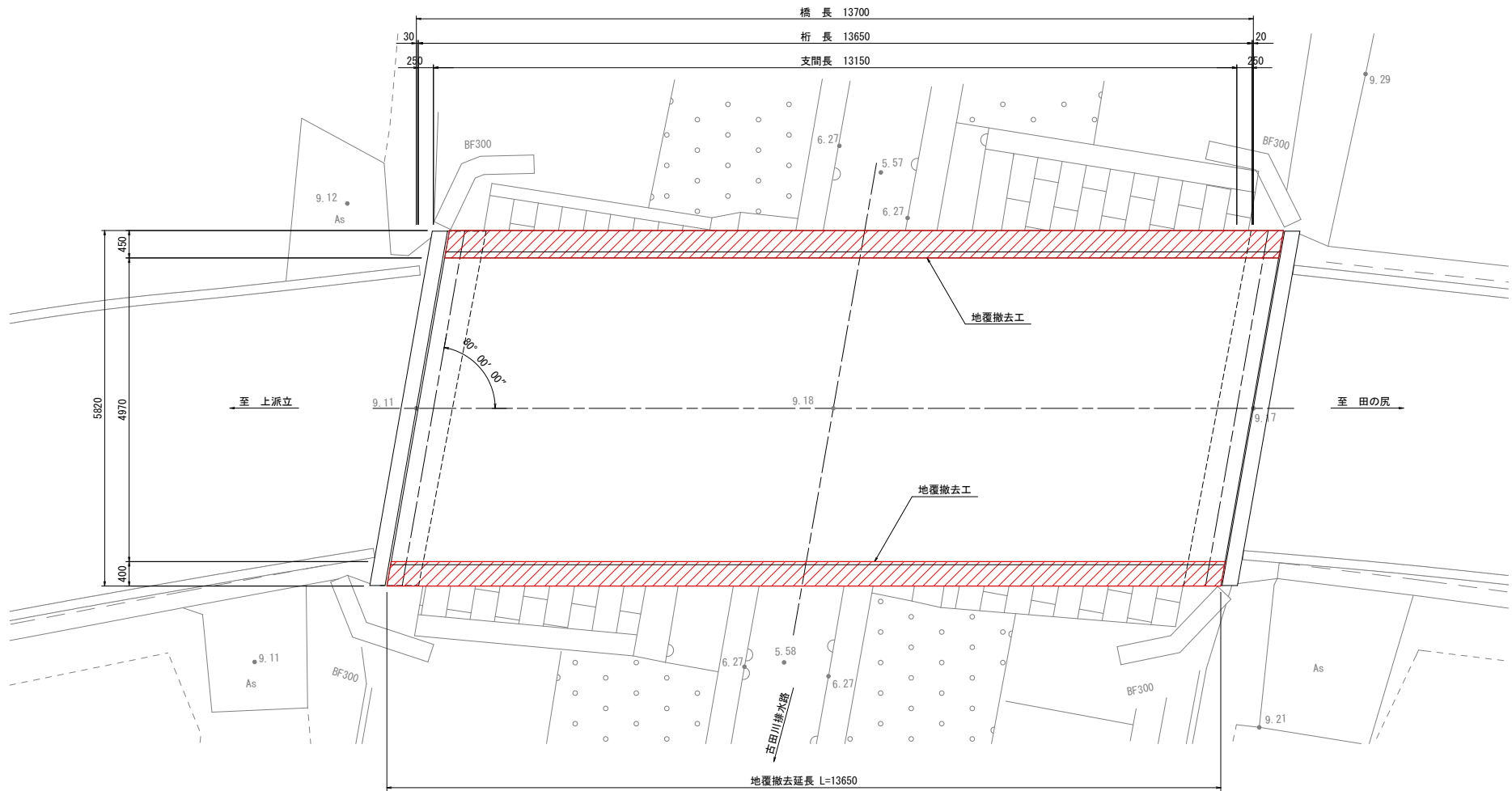
側 面 図 S=1:50



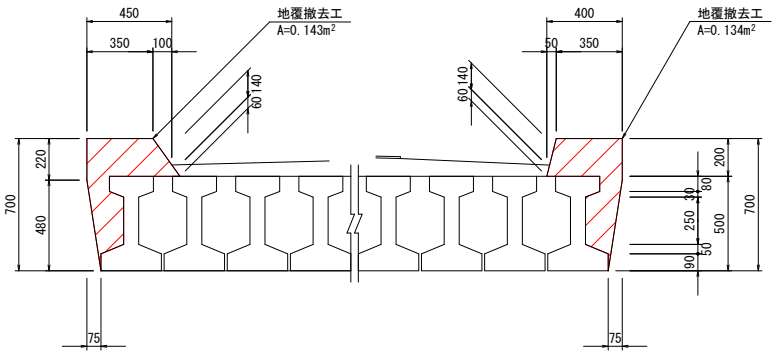
標準断面図 S=1:50



平 面 図 S=1:50



地覆撤去断面図 S=1:20



- <特記事項>
- 詳細形状、寸法は現地計測及び計画路面の高さを確認のうえ決定すること。
 - 地覆を取壊す際は、主桁に損傷を与えないように慎重に作業すること。
また、主桁上面に劣化部が確認される場合には補修を行うこと。
 - 既設鉄筋に錆が見られた場合、防錆処理を行うこと。
 - 地覆と主桁の一体性を確保するために20mm程度の嵩上げを行い漏水対策を行うこと。

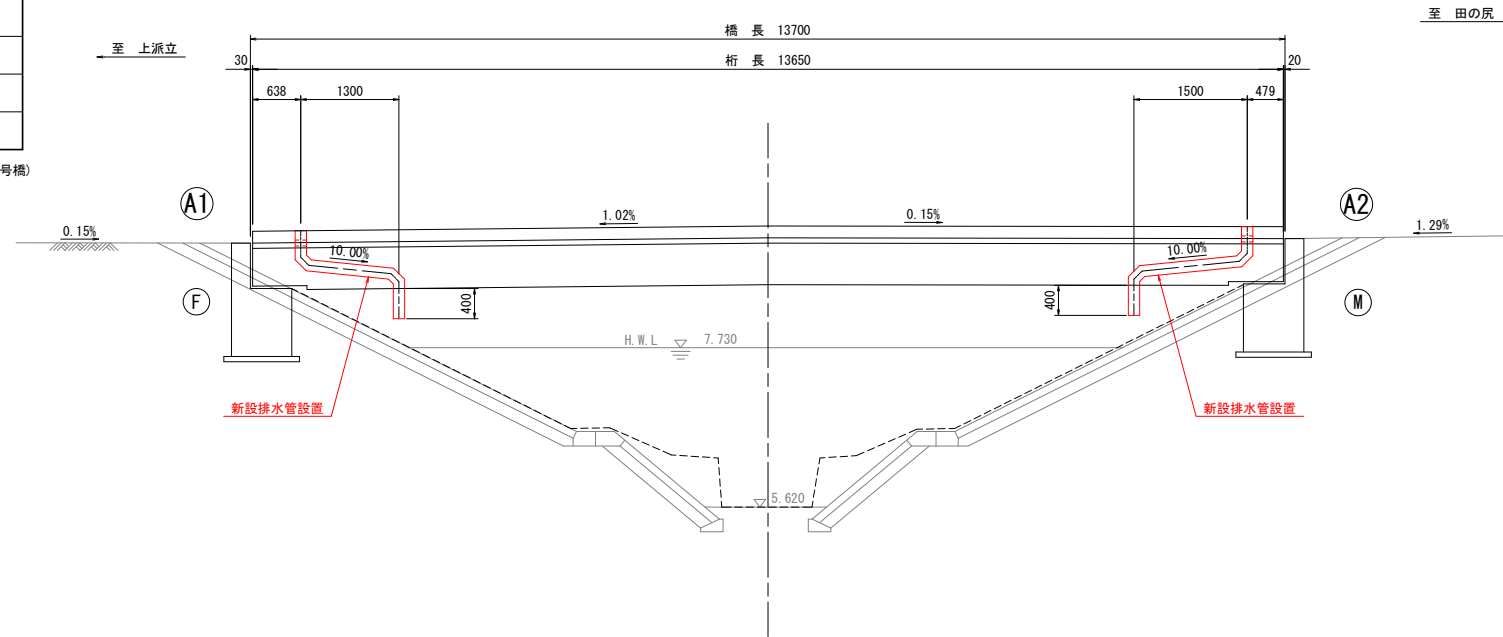
令和 7 年度 橋梁補修 工事	
工事番号	建士 第 117 号
路線 河川	上派立1号橋
施工箇所	つがる市柏桑野木田 地内
排水装置補修図 (1/2)	縮尺 図 示
図面番号	15 葉中 12
つ が る 市	
土 木 課	

(上派立1号橋)

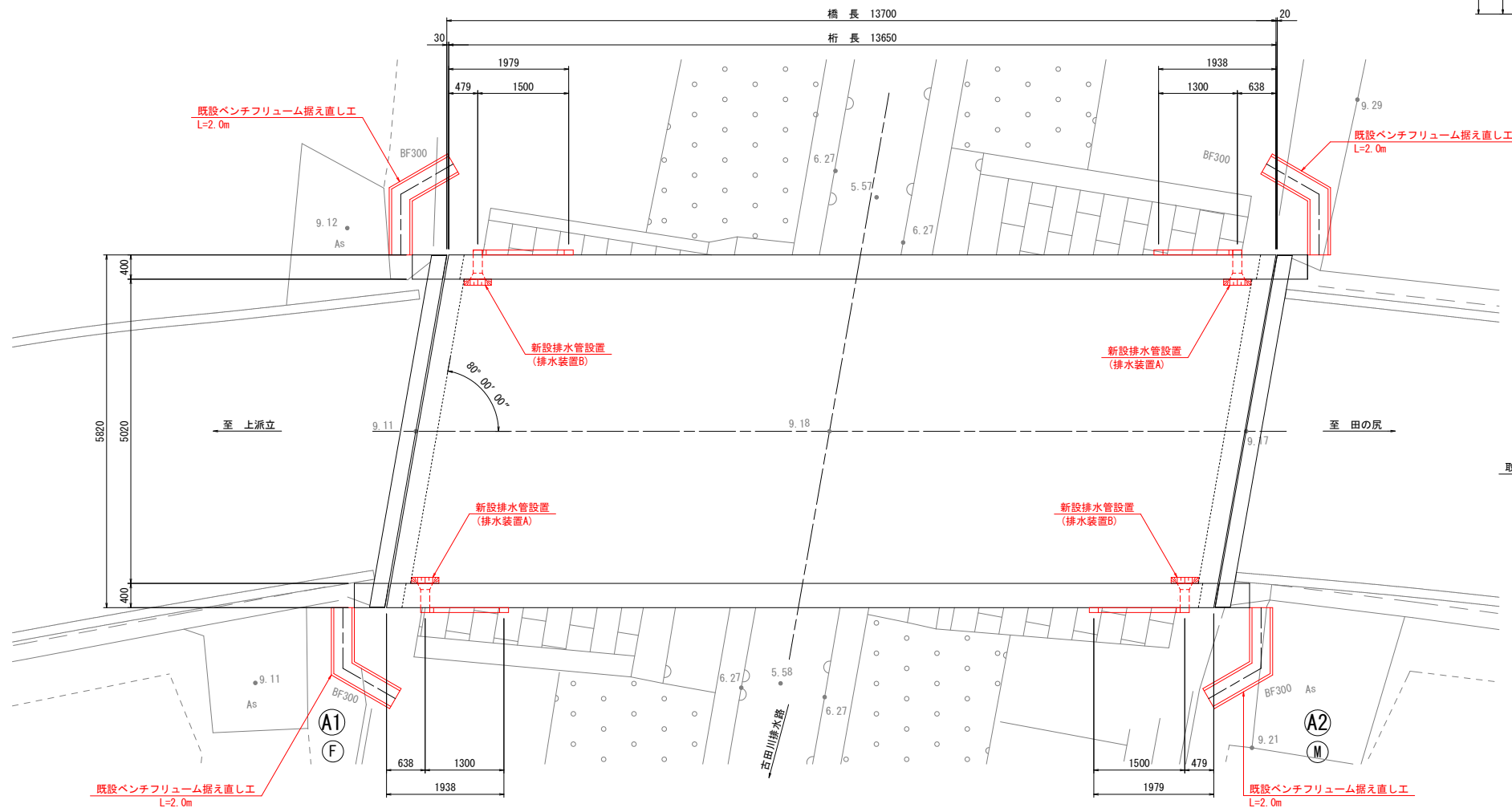
11
14

排水装置補修工図(1/2)

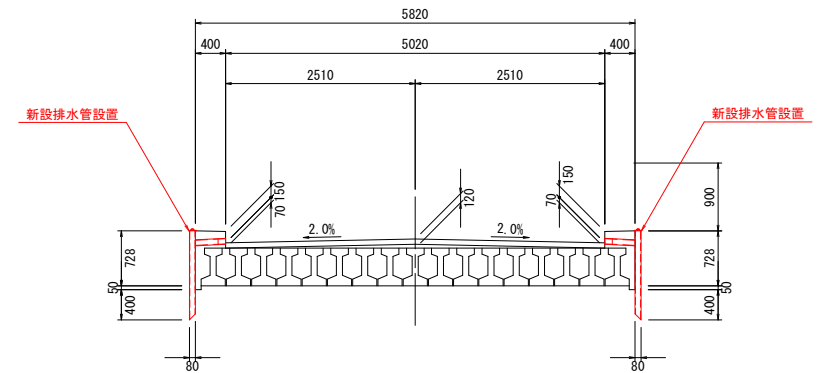
側面図 S=1:50



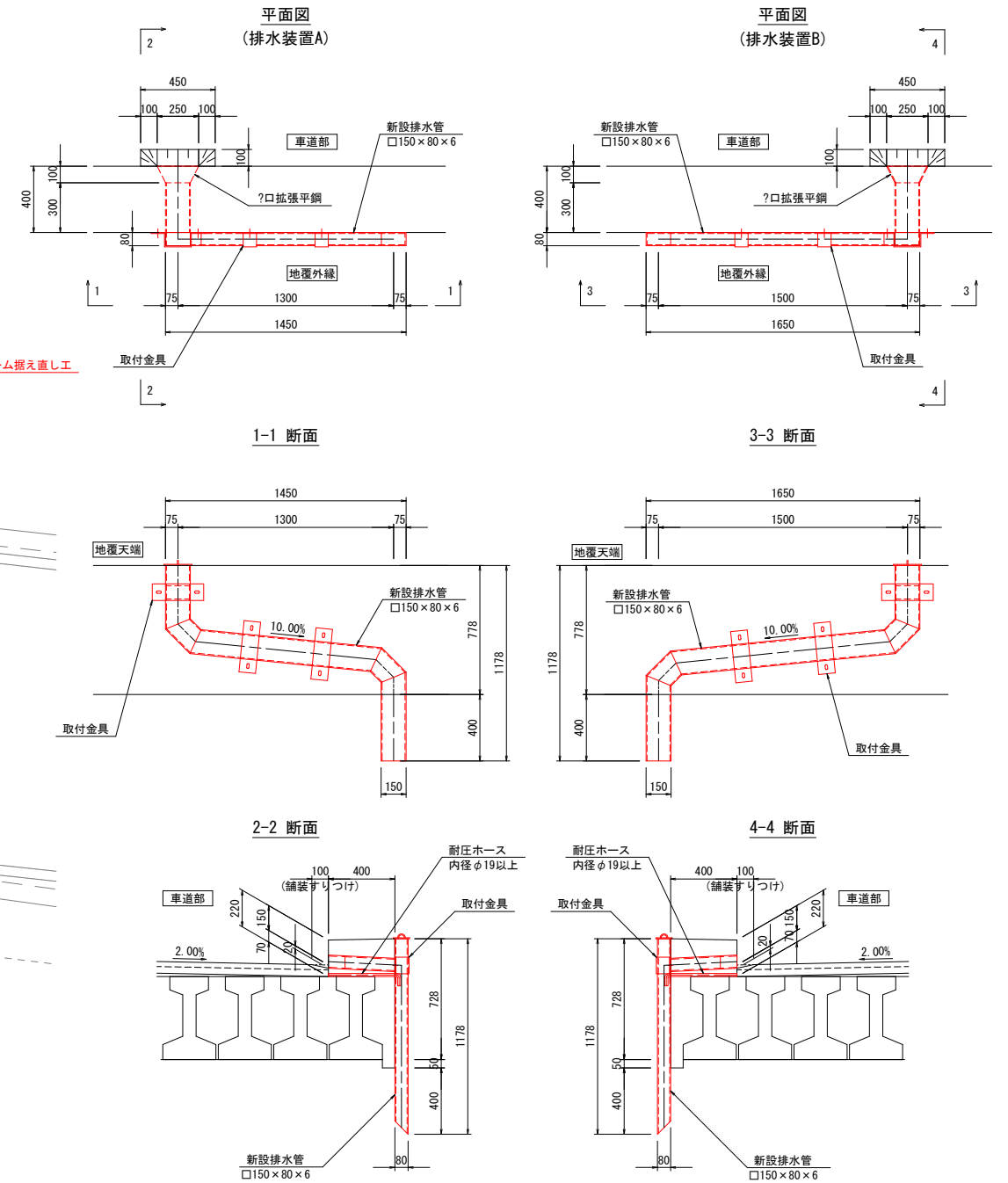
平面図 S=1:50



標準断面図 S=1:50



排水管設置図 S=1:20

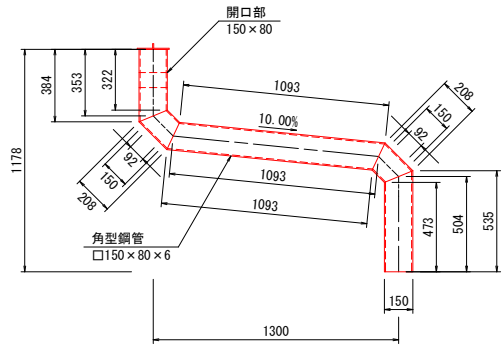


令和 7 年度	橋梁補修 工事	
工事番号	建土 第 117 号	
路線 名	上派立1号橋	
施工箇所	つがる市柏桑野木田 地内	
排水装置補修図 (2/2)	縮尺	図 示
図面番号	15 葉中	13
つ が る 市		
土 木 課		

(上派立1号橋)

12
14

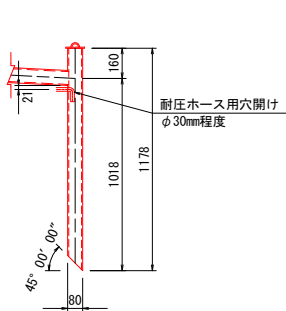
側面図



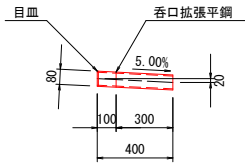
排水装置A

S=1:20

断面図

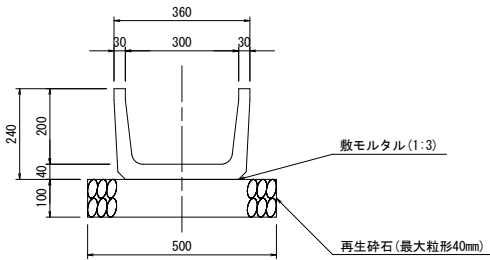


角型鋼管



製作数：2箇所
□150×80×6× 2250 (STKR400) <HDZ55>
□150×80×6× 300 (STKR400) <HDZ55>

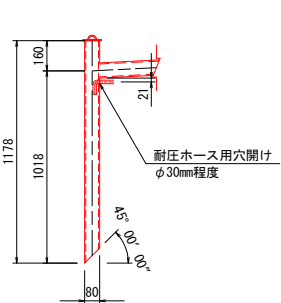
ベンチフリューム (BF-B 300) S=1:10



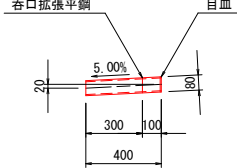
排水装置B

S=1:5

断面図

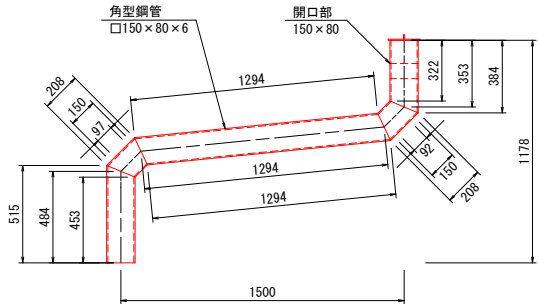


角型鋼管

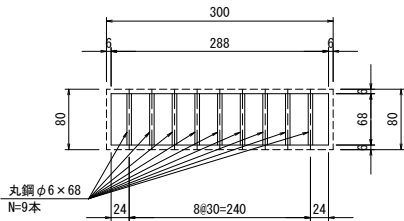


製作数：2箇所
□150×80×6× 2431 (STKR400) <HDZ55>
□150×80×6× 300 (STKR400) <HDZ55>

側面図

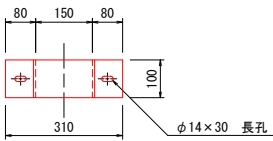
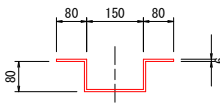


目皿 S=1:5 (4箇所)



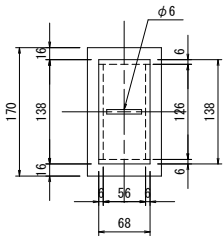
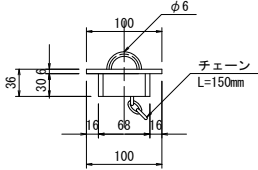
排水管 1箇所当たり
9-SR φ6×68 (SR235) <HDZ55>

取付金具 (12箇所) S=1:10



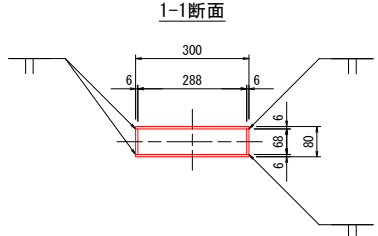
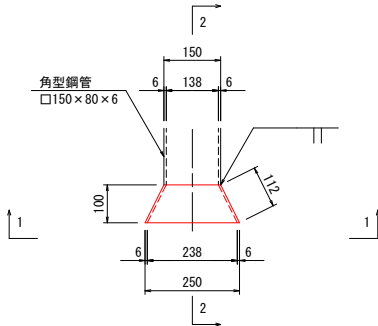
取付金具 1箇所当たり
1-PL 100×6×470 <HDZ55>
2-Con Ano(B.N.W) M12×30 (SUS)

蓋 S=1:5 (4箇所)

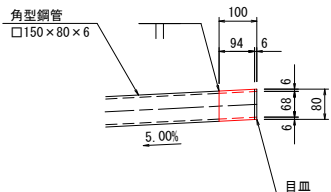


蓋 1箇所当たり
1-PL 100×6×170 <HDZ55>
2-PL 30×6×126 <HDZ55>
2-PL 30×6×68 <HDZ55>
1-SR φ6×63 (SR235) <HDZ55>
1-チェーン L=150mm

呑口拡張平鋼 (4箇所) S=1:10



2-2断面



呑口拡張平鋼 1箇所当たり
2-PL250×6×100 <HDZ55>
2-PL112×6×68 <HDZ55>

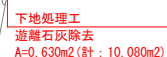
(上派立1号格)

側面図 S=1:50



下地处理工
遊離石灰除去
A=0.630m²(計:10.080m²)

下地处理工
遊離石灰除去
A=0.630m²(計:10.080m²)



- ＜特記事項＞
1. コンクリート下地処理は十分行い、断面欠損が生じた場合は断面補修を行うこと。
 2. 断面補修の際、鉄筋が腐食している場合は、鉄筋の防錆処理を行うこと。
 3. 図中、各対策範囲は、現地確認のうえ決定すること。
 4. 追加補修箇所がある場合は、調査職員と協議し補修の有無を確認すること。

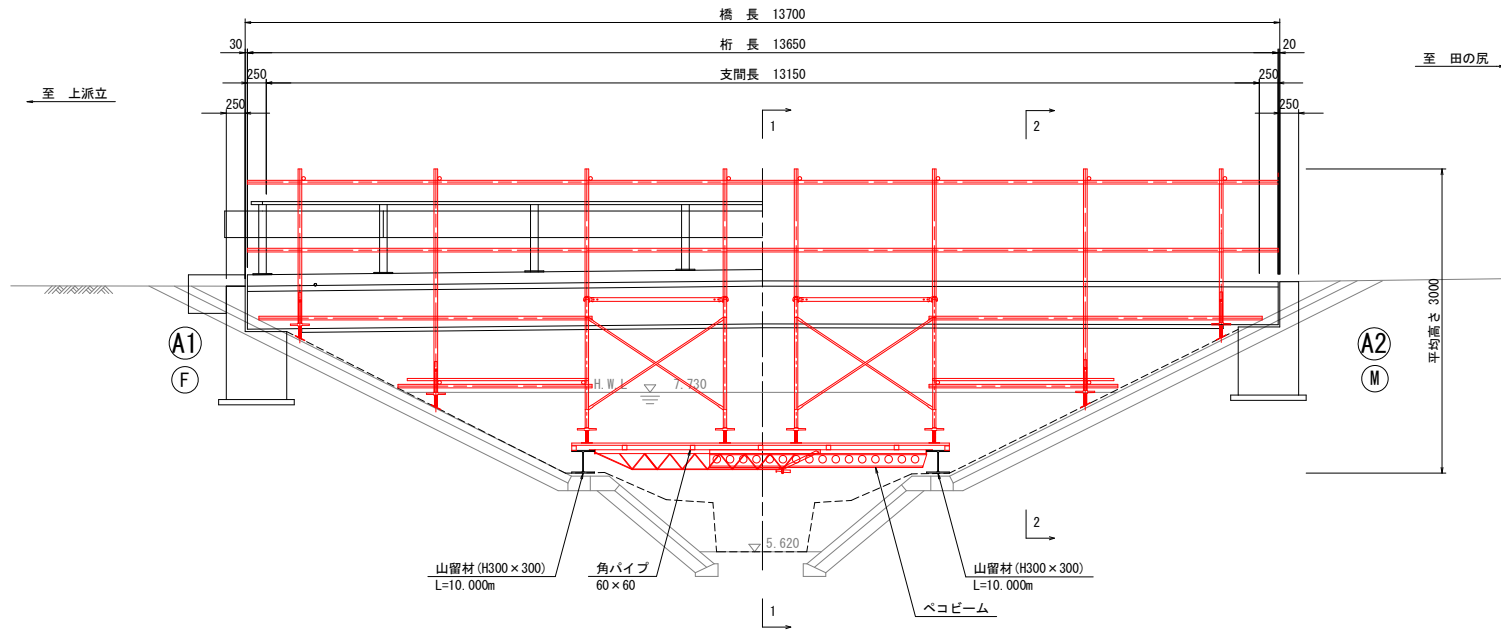
令和 7 年度	橋梁補修		工事
工事番号	建土 第 117 号		
路線 河川	上派立1号橋		
施工箇所	つがる市柏桑野木田 地内		
仮設足場参考図	縮尺	図 示	
図面番号	15	葉中	15
つ が る 市			
土 木 課			

(上派立1号橋)

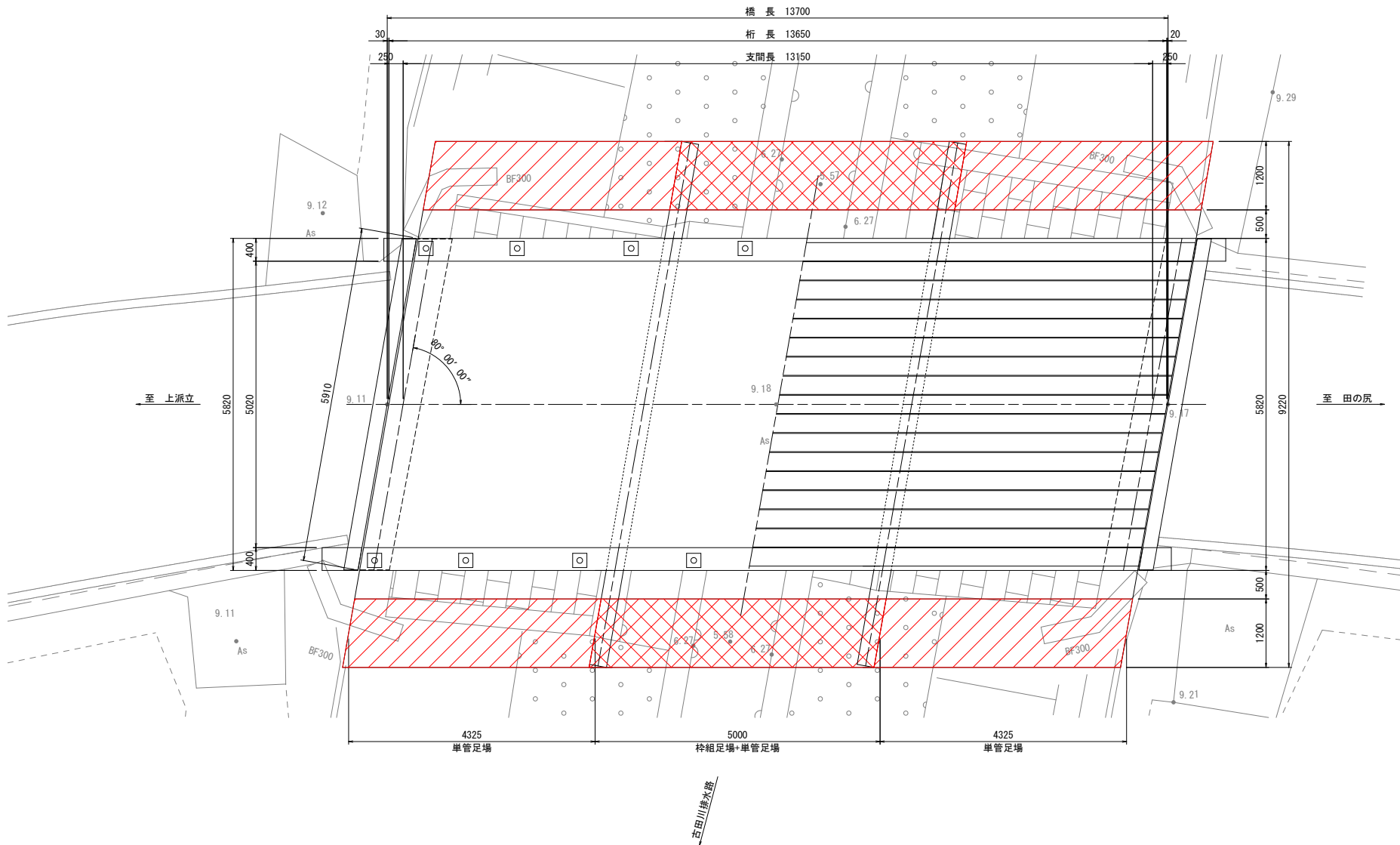
14
14

仮設足場参考図

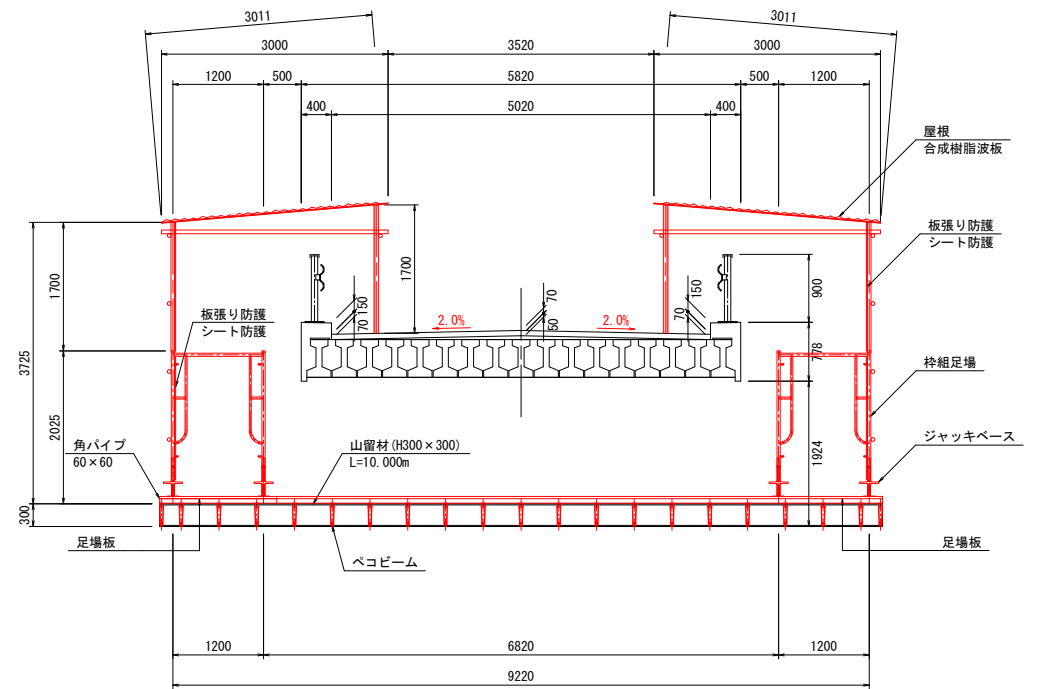
側 面 図 S=1:50



平 面 図 S=1:50



1 - 1 断面 S=1:50



2 - 2 断面 S=1:50

